

平成28年度第2回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会

## 資 料

### 1 議 事

第1号議案 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター平成27事業年度の  
業務実績に関する評価について

**資料1** 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの業務実績の評価方法

**資料2** 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター  
平成27事業年度に係る業務実績報告書

(参考資料)

東千葉メディカルセンターの運営状況について (平成27年度)

第2号議案 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター平成27年度財務諸  
表に対する意見について

**資料3** 財務諸表に対する意見聴取の方針

**資料4** 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター平成27年度財務諸表

### 2. その他

(参考資料)

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター平成28年度年度計画

## 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの業務実績の評価方法

平成23年2月9日

地方独立行政法人

東金九十九里地域医療センター評価委員会

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター（以下「法人」という。）の業務の実績に関する評価の方法について、次のとおり定める。

## 1 評価の基本方針

業務の実績に関する評価は、地方独立行政法人法(以下「法」という。)第28条の規定による「各事業年度に係る業務の実績に関する評価」及び同法第30条の規定による「中期目標に係る業務の実績に関する評価」とし、業務の実績の全体について総合的な評価を行うものとする。

## (1) 各事業年度に係る業務の実績に関する評価

中期目標及び中期計画に基づき作成された年度計画を踏まえ、当該事業年度における業務の実績の全体について、総合的に評価するものとする。

## (2) 中期目標に係る業務の実績に関する評価

中期目標及び中期計画を踏まえ、当該中期目標の期間における業務の実績の全体について、総合的に評価するものとする。

## 2 各事業年度に係る業務の実績に関する評価の方法

各事業年度に係る業務の実績に関する評価は、法第26条第2項に係る事項について行う「項目別評価」と業務実績の全体について行う「全体評価」を併せて行うものとする。

## (1) 項目別評価

項目別評価は、各項目ごとに数値その他による客観的な事実の確認に基づき、次の5段階による評価を行うものとする。

- 5 … 年度計画を大きく上回って実施している
- 4 … 年度計画をやや上回って実施している
- 3 … 年度計画を予定どおりに実施している
- 2 … 年度計画を十分には実施できていない
- 1 … 年度計画を大幅に下回っている

## (2) 全体評価

全体評価は、「(1)項目別評価」の結果を踏まえ、次の5段階による評価及び記述式による評価を行うものとする。

- S … 計画を大幅に達成し、又は計画よりも大幅に進捗していると認められる
- A … 計画をやや超えて達成し、又は計画よりもやや進んでいると認められる
- B … 概ね計画どおりに進んでいると認められる
- C … 計画をやや下回り、又は計画よりもやや遅れていると認められる
- D … 計画をかなり下回り、若しくは計画よりも大幅に遅れ、又は業務運営に関して重大な改善すべき事項等が認められる

## (3) 評価等の手順

評価等の手順は、次に定めるところにより行うものとする。

- ① 法人は、地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの業務運営等に関する規則(東金市規則第22号。以下「東金市規則」という。)第6条の規定による報告書(以下「年度業務実績報告書」という。)を作成し、当該規則の定める期限までに評価委員会に提出する。この場合において、法人は、年度業務実績報告書について項目別評価に準じた自己評価を行うとともに、委員会が行う評価のための調査・分析に係る資料を併せて提出するものとする。
- ② 委員会は、年度業務実績報告書の提出があったときは、法人の自己評価及び提出された調査・分析に係る資料に基づき評価を行うものとし、必要に応じ、法人の理事、職員等に対する聞き取りを行い、又は、新たな資料の提出を求めるものとする。
- ③ 委員会は、評価結果の決定にあたり、あらかじめ法人に意見申し出の機会を付与するものとする。
- ④ 委員会は、評価結果を決定したときは、法第28条第3項の規定による法人への通知を行うものとし、特に業務運営の改善その他について勧告すべき事項があるときは、当該勧告も併せて行うものとする。
- ⑤ 委員会は、評価結果を法人に通知したときは、法第28条第4項の規定により当該結果を設立団体の長に報告するとともに、これを公表する。

## 3 中期目標に係る業務の実績に関する評価の方法

中期目標に係る業務の実績に関する評価は、法第25条第2項第2号から第5号までに係る事項について行う「項目別評価」と業務実績の全体について行う「全体評価」を併せて行うものとする。

### (1) 項目別評価

項目別評価は、各項目ごとに数値その他による客観的な事実の確認に基づき、

中期目標期間における実績について、次の5段階による評価を行うものとする。

- 5 … 中期目標を大きく上回って実施している
- 4 … 中期目標をやや上回って実施している
- 3 … 中期目標を予定どおりに実施している
- 2 … 中期目標を十分には実施できていない
- 1 … 中期目標を大幅に下回っている

(2) 全体評価

全体評価は、「(1)項目別評価」の結果を踏まえ、次の5段階による評価及び記述式による評価を行うものとする。

- S … 中期目標を大幅に達成し、又は中期目標よりも大幅に進捗していると認められる
- A … 中期目標をやや超えて達成し、又は中期目標よりもやや進んでいると認められる
- B … 概ね中期目標を達成していると認められる
- C … 中期目標をやや下回り、又は中期目標よりもやや遅れていると認められる
- D … 中期目標をかなり下回り、若しくは中期目標よりも大幅に遅れ、又は業務運営に関して重大な改善すべき事項等が認められる

(3) 評価等の手順

評価等の手順は、次に定めるところにより行うものとする。

- ① 法人は、東金市規則第8条の規定による中期目標に係る業務実績報告書を作成し、当該規則の定める期限までに評価委員会に提出する。この場合において、法人は、当該業務実績報告書について項目別評価に準じた自己評価を行うとともに、委員会が行う評価のための調査・分析に係る資料を併せて提出するものとする。
- ② 委員会は、中期目標に係る業務実績報告書の提出があったときは、法人の自己評価及び提出された調査・分析に係る資料に基づき評価を行うものとし、必要に応じ、法人の理事、職員等に対する聞き取りを行い、又は、新たな資料の提出を求めるものとする。
- ③ 委員会は、評価結果の決定にあたり、あらかじめ法人に意見申し出の機会を付与するものとする。
- ④ 委員会は、評価結果を決定したときは、法第30条第3項で準用する法28条第3項の規定による法人への通知を行うものとし、特に業務運営の改善その他について勧告すべき事項があるときは、当該勧告も併せて行うものとする。
- ⑤ 委員会は、評価結果を法人に通知したときは、法第30条第3項で準用する

法第28条第4項の規定により当該結果を設立団体の長に報告するとともに、これを公表する。

#### 4 その他

##### (1) 中期目標に係る暫定評価等の実施

設立団体の長は、次期中期目標等の検討のため必要があると認めたときは、中期目標期間が満了する前に、「3 中期目標に係る業務の実績に関する評価の方法」の例により、評価委員会及び法人に対し、中期目標に係る暫定評価を行わせることができるものとする。

##### (2) 評価の方法の見直し等

評価委員会は、業務の実績に関する評価の方法について見直しする必要があると認めたときは、評価委員会において協議しこれを改正するものとする。

# 平成27事業年度に係る業務実績報告書

平成28年5月

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

## 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの概要

### 1. 法人現況

#### (1) 法人名

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

#### (2) 本部の所在地

千葉県東金市丘山台三丁目6番地2

#### (3) 設 立：平成22年10月1日法人設立

#### (4) 役員の状況(平成28年3月31日現在)

理事長：平澤 博之

理 事：石原 照子、本吉 伸弘、篠崎 純（非常勤）、横須賀 収（非常勤）、大川 昌権（非常勤）

監 事：白土 英成

#### (5) 職員数(平成28年3月31日現在)

常勤職員：282人 非常勤職員：69人

### 2. 病院現況

#### (1) 病院の概要

病院名：東千葉メディカルセンター

所在地：千葉県東金市丘山台三丁目6番地2

開 院：平成26年4月1日開院

病床数：164床（救命救急センター（ICU10床・HCU10床）、一般144床）

診療科：18科

医 師：65人（常勤37人 非常勤28人）（開院時30人 後期研修医含む。）

看護師：180人（常勤155人 非常勤25人）（開院時130人）

#### (2) 基本理念

患者の権利を尊重し、救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として地域住民に信頼される高度で安全な医療を行います。

(3) 基本方針

- 救命救急センターを併設して24時間、365日の救急医療の提供を行います。
- 高度な専門医療の提供を行い、地域住民の生命と健康を守ります。
- 常に安全・安心の医療を行います。
- 患者の権利を尊重し、常に患者第一の医療提供を行います。
- 医療連携を推進し、地域の患者により良い医療を提供します。
- 地域の中核病院として、地域医療機関と密接な連携を図ります。
- 医療従事者の教育・研修に努め、継続的に地域における医療の質の向上を図ります。
- 千葉大学医学部・同附属病院と密接に連携して診療を行います。
- 健全経営に努めるとともに、生き生きとした職場づくりに努めます。
- 地域の保健・医療に貢献するため、地域中核病院としての役割を担います。



地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 平成27事業年度 年度計画評価表

項目番号			年度計画	地方独立行政法人		評価委員会評価						
大	中	小	内容	自己評価		評価	評価					
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置												
	1		<p>救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救命救急センターとして、脳卒中・急性心筋梗塞・多発外傷・熱傷・急性中毒等の重篤救急患者に対して24時間365日体制で高度で専門的な医療を提供し広域的な患者の受入に対応する。</li> <li>初期救急医療については、夜間急病診療所や休日在宅当番医の後方ベッドとしての役割を担うとともに、メディカルセンターへの夜間急病診療所機能移転の妥当性について検討する。</li> <li>二次救急医療については、他の病院群輪番制病院の後方ベッドとしての役割を担うとともに、一月あたり夜間4コマ（内科系・外科系各2コマ）、休日日中2コマ（内科系・外科系各1コマ）病院群輪番制に参加する。</li> </ul> <p>〈関連する数値目標〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成27年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車搬送受入患者数</td> <td>2,000人</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成27年度目標	救急車搬送受入患者数	2,000人	<ul style="list-style-type: none"> <li>救命救急センターとしての機能を発揮し、重篤救急患者に対して24時間365日体制で高度で専門的な医療を提供し広域的な患者の受入を行った。 〈実績数値〉 救急車搬送受入患者数：2,538人 救急搬送受入件数（地域別：主なもの） 山武郡市：1,841人 長生郡市：308人</li> <li>初期救急医療については、夜間急病診療所や休日在宅当番医の後方ベッドとして患者の受け入れを行った。</li> <li>二次救急医療については、他の病院群輪番制病院の後方ベッドとしての役割を担い、一月あたり夜間4コマ、休日日中2コマ病院群輪番制に参加した。 〈実績〉 山武郡市二次救急医療輪番開始（一月あたり内科系2日、外科系2日） 山武郡市休日当番開始 （一月あたり二次内科系1日、二次外科系1日）</li> </ul>		4		
事 項	平成27年度目標											
救急車搬送受入患者数	2,000人											

2	<p>地域の中核病院として担うべき医療</p> <p>(1) 小児医療・小児救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>急性疾患を中心に入院治療に対応した小児医療を提供する。</li> <li>救命救急センターにおいて、小児科専門医と救急専門医の協力のもと小児救急医療への対応ができるよう準備を整える。</li> </ul>	<p>小児医療・小児救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>急性疾患を中心に入院治療に対応した小児医療の提供を行った。</li> <li>救命救急センターにおいて、小児科専門医と救急専門医の協力のもと小児救急医療に対応した。</li> </ul> <p>〈実績数値〉</p> <p>小児科入院延患者数： 550人</p> <p>小児科外来延患者数：5,840人</p> <p>診療日・診療時間：月曜日～金曜日 9時～12時 13時～17時 月曜日・木曜日 17時～23時</p>	4	
	<p>(2) 周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周産期病床において、正常分娩を中心に対応した周産期医療ができるよう人材確保を行い準備を整える。</li> </ul>	<p>周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周産期病床において、正常分娩を中心に対応した周産期医療を行うため、千葉県との協力のもと、次年度着任の医師の確保を行った。平成28年3月末現在で助産師11人を確保しており、平成28年度から周産期医療の提供を行う。</li> </ul>	3	
	<p>(3) 災害医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域災害拠点病院としての機能を十分に発揮できるように、地域医療機関、医師会、自治体等との連絡体制を確保するとともに、小型非常用発電装置、医薬品、診療材料、飲料水等を配備する。</li> <li>メディカルセンター全体を対象としたトリアージ訓練等の災害医療訓練を行うとともにDMATを中心に災害救護を想定した各種訓練に参加し、災害医療に対応する。</li> <li>千葉大学医学部附属病院のDMATとの連絡体制を整える。</li> </ul>	<p>災害医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域災害拠点病院として災害発生時に備え、地域医療機関、医師会、自治体等との連絡体制を確保するとともに、非常用発電装置、医薬品、診療材料、飲料水等を配備した。</li> <li>メディカルセンター全体を対象としたトリアージ訓練等の災害医療訓練を行った。DMATを中心に災害救護を想定した各種訓練に参加した。</li> </ul> <p>〈実績〉</p> <p>9月1日 政府主催総合防災訓練の実施 (千葉大学医学部附属病院DMATと総合的な訓練を行った)</p> <p>9月11・12日 北関東・東北の集中豪雨災害の被災地においてDMATとして活動を行った。</p>	3	
	<p>(4) 感染症医療</p>	<p>感染症医療</p>	3	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>結核については結核患者収容モデル病床にて、結核患者に対応した医療を提供する。</li> <li>H I V（ヒト免疫不全ウイルス）感染症に関する専門医の確保について検討する。</li> <li>新型インフルエンザ等の新たな感染症が発生したときは、地域医療機関、医師会、自治体等と密接に連携しながら迅速かつ適切な対応を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>結核については結核患者収容モデル病床を使用し、結核患者に対応した医療を提供した。</li> <li>H I V（ヒト免疫不全ウイルス）感染症に関する専門医の確保について検討をした。</li> <li>新型インフルエンザ等の新たな感染症が発生したときに備え、地域医療機関、医師会、自治体等と密接に連携しながら迅速かつ適切な対応を行えるよう、マニュアル等の作成と整備を行った。</li> </ul>		
3	高度専門医療				
(1)	<p>4 疾病への対応</p> <p>① がん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消化器がん（食道・胃・大腸・直腸・肝・胆道・膵等）に対応し、病態に応じて、内視鏡治療、外科手術、化学療法及び緩和ケア医療を提供するとともに、放射線治療を必要とする場合は必要に応じて千葉大学医学部附属病院と連携して治療を行う。</li> <li>がん検診の精密検査については、上記に加え、肺がんについても対応する。また子宮がん、乳がんについて対応を検討する。</li> <li>地域におけるがん診療の拠点的功能を有する病院として、地域がん診療連携協力病院の指定を目指す。</li> </ul> <p>② 脳卒中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>脳卒中等の脳血管疾患については、24時間365日体制で迅速な診断、治療をはじめ、特に増加傾向にある脳梗塞患者に対するt-P A（血栓溶解薬）の急性期静脈内投与や血行再建術等を要する治療を行う。</li> <li>急性期医療に専念するため、地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し回復期の患者の受入先を確保する。</li> </ul> <p>③ 急性心筋梗塞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>急性心筋梗塞については、24時間365日</li> </ul>	<p>4 疾病への対応</p> <p>① がん</p> <p>消化器がん（食道・胃・大腸・直腸・肝・胆道・膵等）に対応し、病態に応じて、内視鏡治療、外科手術、化学療法及び緩和ケア医療を提供するとともに、放射線治療を必要とする場合は必要に応じて千葉大学医学部附属病院等と連携して治療を行った。</p> <p>がん検診の精密検査については、上記に加え、肺がん、子宮がんについても対応した。</p> <p>地域におけるがん診療の拠点的功能を有する病院として、地域がん診療連携協力病院の指定を検討した。</p> <p>② 脳卒中</p> <p>脳卒中等の脳血管疾患については、24時間365日体制で迅速な診断、治療をはじめ、特に増加傾向にある脳梗塞患者に対するt-P A（血栓溶解薬）の急性期静脈内投与や血行再建術等の治療を行った。</p> <p>また、急性期医療に専念するため、地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し回復期の患者の受入先を確保した。</p> <p>③ 急性心筋梗塞</p> <p>急性心筋梗塞については、24時間365日体制で冠動脈カテーテル療法をはじめとする各種治療法による急性期医療を中心に提供した。</p> <p>④ 糖尿病</p> <p>糖尿病については、外来での一般的な診療を行うとと</p>	3		

	<p>体制で冠動脈カテーテル療法をはじめとする各種治療法による急性期医療を中心に提供する。</p> <p>④ 糖尿病</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病患者に対する一般的な診療を行うとともに糖尿病性腎症等の合併症を有する患者等で症状の悪化に伴い救急搬送された患者に対応した急性増悪時治療を提供するとともに、糖尿病性腎症患者に対する透析導入を行う。</li> <li>・維持透析療法が必要な患者については地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し受入先を確保するとともに、重篤な合併症発症時に対応する。</li> </ul>	<p>もに糖尿病性腎症等の合併症を有する患者等で症状の悪化に伴い救急搬送された患者に対応した急性増悪時治療を提供するとともに、糖尿病性腎症患者に対する透析導入について対応できるよう準備を行った。住民を対象とした糖尿病教室を開催した。また、糖尿病患者の入院治療に対応するとともに食事療養やインスリン注射等の自己管理を中心とした教育入院の対応を行った。</p>		
	<p>(2) 高度で専門性の高い医療</p> <p>① 高度な総合医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院や手術を中心とした急性期医療を安定的に提供するとともに、各診療科の体制を整備し、外来診療については地域医療機関との役割分担のもと紹介や専門外来を中心に高度医療機器等による検査等を行うことで、地域の中核病院として高度な総合医療を提供する。</li> </ul> <p>② チーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの専門性をもつ医療従事者が、目的と情報を共有し、互いに連携しながら患者本位の医療を提供することを目指し、救急部門と各診療科、各コメディカル部門との連携による救急医療を提供する。</li> <li>・早期リハビリ、NST（栄養サポートチーム）等の分野におけるチーム医療体制を構築し活動する。</li> </ul> <p>③ 高度専門医療の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療需要の質的、量的な変化や新たな医療課</li> </ul>	<p>高度で専門性の高い医療</p> <p>① 高度な総合医療</p> <p>入院や手術を中心とした急性期医療を安定的に提供し、18診療科の体制を整備した。外来診療については地域医療機関との役割分担のもと専門外来を中心に高度医療機器等による検査等を行うことで、地域の中核病院として高度な総合医療を提供した。</p> <p>② チーム医療の推進</p> <p>それぞれの専門性をもつ医療従事者が、目的と情報を共有し、互いに連携しながら患者本位の医療を提供することを目指し、救急部門と各診療科の連携による救急医療を提供した。</p> <p>医師を含む多職種で構成するNST（栄養サポートチーム）等のチーム医療体制を構築し活動した。</p> <p>③ 高度専門医療の充実</p> <p>医療需要の質的、量的な変化や新たな医療課題に適切かつ柔軟に対応するため、必要な診療科を重点的に整備し、より高度な専門医療体制を構築した。また、医療水準の更なる向上を図るため、法律等に基づく指定医療機関の指定を取得した。</p>	3	

		<p>題に適切かつ柔軟に対応するため、必要に応じて診療科の再編や病院機能の充実又は見直しを行い、より高度な専門医療体制を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療水準の更なる向上を図るため、法律等に基づく指定医療機関の指定や各種学会による認定施設の認定取得を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第59条第1項の規定による指定自立支援医療機関</li> <li>臨床研修病院指定</li> <li>日本外科学会外科専門医制度関連施設</li> <li>日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設</li> <li>日本呼吸器学会関連施設</li> <li>日本消化器病学会専門医制度認定施設</li> </ul>		
4		安全・安心で信頼される医療			
	(1)	医療安全対策の徹底			
		<p>① 医療安全対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全管理委員会を設置し、院内で発生した又は発生しそうな医療安全上の問題点についての収集、分析及び結果の検証を行うとともに、医療事故発生時には十分な検証と検証結果を公表するなど医療安全対策を徹底する。</li> <li>医療安全管理マニュアル等に基づき、医療安全研修を実施し全職員が医療安全に対する共通理解と知識の向上を図る。</li> </ul> <p>② 院内感染防止対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染管理委員会による研修会の実施、また、千葉大学医学部附属病院との合同カンファレンスなど、院内感染防止に関する教育、訓練及び啓発を行い、医師をはじめとした医療スタッフの知識の向上を図るとともに、問題点を把握し改善策を講ずるなど院内感染防止対策を徹底する。</li> <li>院内感染防止に関するマニュアルに基づき、院内感染が発生した場合はマニュアル等に基づき適切に対処する。</li> </ul>	<p>① 医療安全対策の徹底</p> <p>医療安全管理委員会を設置し、院内で発生した又は発生しそうな医療安全上の問題点についての収集、分析及び結果の検証を行った。</p> <p>また、医療安全管理マニュアル等の各種マニュアルを整備し、年2回医療安全研修を実施し全職員が医療安全に対する共通理解と知識の向上を図った。</p> <p>〈実績〉</p> <p>平成27年10月14日・平成28年2月26日 医療安全・感染対策研修会実施</p> <p>② 院内感染防止対策の徹底</p> <p>感染管理委員会による研修会を実施した。また、千葉大学医学部附属病院の研修に参加する等、院内感染防止に関する教育、訓練及び啓発を行い、医師をはじめとした医療スタッフの知識の向上を図った。</p> <p>また、院内感染防止に関するマニュアルを整備し、院内感染が発生した場合はマニュアル等に基づき適切に対処した。</p>	3	
	(2)	患者の視点に立った医療の実践	患者の視点に立った医療の実践	3	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>インフォームド・コンセントの取得を徹底する。</li> </ul>	<p>インフォームド・コンセントを徹底するため、患者パス等で患者の視点に立った説明を行った。</p>		

		<ul style="list-style-type: none"> <li>患者やその家族に対し満足度調査等を実施し、現状を把握するとともに満足度の高い医療の提供を行う。</li> </ul>	<p>患者やその家族に対し満足度の高い医療を提供するため、満足度調査として意見箱を設置し調査を行った。</p>		
	(3)	<p>医療の標準化と診療情報の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クリニカルパス推進委員会を中心に、より効果的な医療を提供することで患者負担を軽減し、治療期間の短縮にも寄与できるようクリニカルパスの積極的な活用を図る。</li> <li>診療情報データを用いて他病院との比較分析を行い医療の質の改善と標準化を図るため、DPC（診断群分類別包括評価）対象病院の認定を目指す。</li> </ul>	<p>医療の標準化と診療情報の分析</p> <p>クリニカルパス推進委員会を中心に、より効果的な医療を提供することで患者負担を軽減し、治療期間の短縮にも寄与できるようクリニカルパスの導入及び運用を積極的に行った。</p> <p>また、DPC（診断群分類別包括評価）に対応するデータを用いて他病院との比較分析を行い医療の質の改善と標準化を図った。</p> <p>DPC対象病院の認定についてDPC準備病院として申請を行い平成30年取得に向けて準備を行った。</p>	3	
	(4)	<p>法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公的使命を適切に果たすため、医療法（昭和23年法律第205号）をはじめ、関係法令を遵守するとともに、住民からの信頼を確保するために各種マニュアルを整備し、適切な運用を図る。</li> </ul>	<p>法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）</p> <p>公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめ、関係法令を遵守するとともに、住民からの信頼を確保するために各種マニュアルを整備し、適切な運用を図った。</p>	3	
5		患者・住民サービスの向上			
	(1)	<p>利用しやすい病院づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者や来院者が快適に過ごせるよう院内清掃を徹底する。出入口への車いすの配置等、総合案内や各受付職員を中心に高齢者や障害者が安心して医療を受けられる環境を常に意識する。</li> <li>患者サービス向上委員会を活用し入院患者やその家族を対象に満足度調査を行い、その結果をもとに患者サービスの向上を図る。</li> </ul>	<p>利用しやすい病院づくり</p> <p>患者や来院者が快適に過ごせるよう院内清掃を徹底し、出入口の車いすの配置や、総合案内・総合受付の対応により高齢者や障害者が安心して医療を受けられる体制を整備した。</p> <p>また、患者サービス向上委員会を活用し入院患者やその家族を対象に満足度調査を行い、現状を把握した。</p>	3	
	(2)	<p>患者の待ち時間への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外来診療予約の対応は待ち時間に配慮するとともに、会計の待ち時間短縮のための対策を検討する。</li> </ul>	<p>患者の待ち時間への配慮</p> <p>外来診療、会計等の待ち時間を短縮するため、外来診療に係るシステムの見直しを行い次年度に体制を構築するため検討を行った。</p>	3	
	(3)	患者・来院者の利便性への配慮	患者・来院者の利便性への配慮	3	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>患者や来院者の利便性に配慮した売店運営や、ATM機能の充実を図る。</li> </ul>	<p>患者や来院者の利便性に配慮し、売店運営の時間延長やクレジットカード等の決済を導入した。</p>								
	(4)	<p>住民への保健医療情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民対象の公開講座の開催やホームページの活用等により保健医療情報やメディカルセンターの医療内容を発信し、住民の医療や健康に対する意識の啓発を図る。</li> </ul>	<p>住民への保健医療情報の提供</p> <p>医療に関する専門分野の知識や蓄積された情報を活用して、住民対象の公開講座の開催やホームページの活用等により保健医療情報を発信し、住民の医療や健康に対する意識の啓発を図った。</p> <p>糖尿病教室 毎月第1金曜日開催</p>	3							
	(5)	<p>職員の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者や来院者に接するに相応しい接遇を職員一人ひとりが心がけ、思いやりと気配りがあふれ、心落ち着く対応を行うための研修を実施する。</li> </ul>	<p>職員の接遇向上</p> <p>患者や来院者に接するに相応しい接遇を行うため、職員に対し接遇研修を行った。</p> <p>平成28年3月30日 接遇研修実施</p>	3							
6		<p>地域医療への貢献</p>									
	(1)	<p>地域医療機関等との連携推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療連携室を中心に、紹介された患者の受入と患者に適した地域医療機関等への逆紹介を推進するとともに、千葉県が推進する循環型地域医療連携システム（地域医療連携パス）の活用を図ることで、患者が急性期から回復まで切れ目のない医療を受けられる体制を整備する。</li> </ul> <p>〈関連する数値目標〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成27年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>40%</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成27年度目標	紹介率	65%	逆紹介率	40%	<p>地域医療機関等との連携推進</p> <p>地域医療連携室を中心に、紹介された患者の受入と患者に適した地域医療機関等への逆紹介の対応を行った。</p> <p>地域医療連携室の活動として地域の医師会の協力を得ながら地域の医療機関と密接な関係を構築した。</p> <p>骨密度測定検査について医療機器の共同利用を開始した。</p> <p>〈実績〉 紹介率 57.25% 逆紹介率 44.61%</p> <p>平成27年9月9日 地域連携の会開催</p>	3	
事 項	平成27年度目標										
紹介率	65%										
逆紹介率	40%										
	(2)	<p>保健福祉行政等との協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域保健及び福祉施策に協力し自治体担当部局と連携を図るとともに、自治体消防部局と連携し救急救命士や救急隊員の教育を行う。</li> <li>医師会については、その活動に積極的に参加し情報交換を適宜行うなど必要な協力連携を図る。</li> </ul>	<p>保健福祉行政等との協力</p> <p>地域保健及び福祉施策に協力し自治体担当部局と連携を図った。</p> <p>自治体消防部局と連携し救急救命士の教育研修を実施した。</p> <p>また、医師会については、その活動に積極的に参加し情報交換を適宜行うなど必要な協力連携を図った。</p>	3							
	(3)	<p>疾病予防の取組</p>	<p>疾病予防の取組</p>	3							

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防医療の一環として、予防接種については、インフルエンザワクチン等各種ワクチンの個別接種を行う。</li> </ul>	<p>予防医療の一環として、予防接種については、インフルエンザワクチン等各種ワクチンの個別接種を行った。</p>																													
7	<p>メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開棟</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度については以下のとおりとする。</li> <li>・形成外科については前倒して平成27年度からの開設とする。</li> <li>・産婦人科については通常分娩を実施できるよう人材確保を行う。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="264 587 824 1257"> <tr> <td></td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>診療科 (診療科数)</td> <td>内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科 (18科)</td> </tr> <tr> <td>開設病棟</td> <td>230床</td> </tr> <tr> <td>(一般病棟)</td> <td>5病棟 210床</td> </tr> <tr> <td>(救命救急センター)</td> <td>ICU 10床 HCU 10床</td> </tr> <tr> <td>医師数</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>看護師数</td> <td>199人</td> </tr> </table> <p>※上記については年度末の数値であり、医師数には後期研修医を含んでいる。</p>		平成27年度	診療科 (診療科数)	内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科 (18科)	開設病棟	230床	(一般病棟)	5病棟 210床	(救命救急センター)	ICU 10床 HCU 10床	医師数	48人	看護師数	199人	<p>平成27年度については、18診療科の体制を構築した。</p> <table border="1" data-bbox="913 430 1473 1101"> <tr> <td></td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>診療科 (診療科数)</td> <td>内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科 (18科)</td> </tr> <tr> <td>病床数</td> <td>164床</td> </tr> <tr> <td>(一般病棟)</td> <td>4病棟 144床</td> </tr> <tr> <td>(救命救急センター)</td> <td>ICU 10床 HCU 10床</td> </tr> <tr> <td>医師数</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>看護師数</td> <td>155人</td> </tr> </table> <p>※上記については年度末の数値であり、医師数には後期研修医を含んでいる。</p>		平成27年度	診療科 (診療科数)	内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科 (18科)	病床数	164床	(一般病棟)	4病棟 144床	(救命救急センター)	ICU 10床 HCU 10床	医師数	37人	看護師数	155人	2	
	平成27年度																															
診療科 (診療科数)	内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科 (18科)																															
開設病棟	230床																															
(一般病棟)	5病棟 210床																															
(救命救急センター)	ICU 10床 HCU 10床																															
医師数	48人																															
看護師数	199人																															
	平成27年度																															
診療科 (診療科数)	内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科 (18科)																															
病床数	164床																															
(一般病棟)	4病棟 144床																															
(救命救急センター)	ICU 10床 HCU 10床																															
医師数	37人																															
看護師数	155人																															



第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置					
1					
	(1)	<p>効率的かつ効果的な業務運営体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療環境の変化等に的確に対応できるように、理事長のリーダーシップのもと各部門責任者や院内委員会等に明確な役割分担と適切な権限配分を行い、意思決定を迅速かつ適切に行うことができる効率的かつ効果的な業務運営体制を整備する。</li> <li>中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を達成するため、各部門責任者等で構成する自己評価のための組織を立ち上げ、目標達成の進捗管理のための準備を行う。</li> </ul>	<p>効率的かつ効果的な業務運営体制の整備</p> <p>医療環境の変化等に的確に対応できるように、理事長のリーダーシップのもと各部門責任者や院内委員会等に明確な役割分担と適切な権限配分を行い、意思決定を迅速かつ適切に行うための運営会議を整備した。また、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を達成するため、運営会議において平成27年度の運営状況について説明を行い年度計画における目標の進捗管理を行った。</p>	3	
	(2)	<p>人員配置の弾力的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者動向や業務量の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、定期的又は必要に応じて迅速に医師や看護師等の人員配置の見直しを適宜行う。</li> </ul>	<p>人員配置の弾力的運用</p> <p>患者動向や業務量の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、整形外科等の患者数の多い診療科においては、積極的に後期研修医を配置した。また看護部においては、7対1入院基本料の看護師定員に沿った人員の配置を行った。</p>	3	
	(3)	<p>人事評価制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図るため、職員の自己点検・自己評価が反映され、勤務実績や能力、組織への貢献度が適正に評価される人事評価制度を導入する。効果的な評定制とするため、評定者研修等を行う。</li> </ul>	<p>人事評価制度の導入</p> <p>職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図る為、職員の自己点検・自己評価が反映され、勤務実績や能力、組織への貢献度が適正に評価される人事評価制度について試験的導入として事務部を対象に評価を行った。</p>	2	
	(4)	<p>外部評価</p> <p>① 監査の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>監査によって指摘を受けた事項については、必要な見直しを適宜行うとともにその結果を公表する。</li> </ul> <p>② 病院機能評価等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組織的に医療を提供するための基本的な活動や機能を適切に実施しているかを検証する</li> </ul>	<p>外部評価</p> <p>① 監査の活用</p> <p>監査によって指摘を受けた事項については、必要な見直しを適宜行い、結果を公表した。</p> <p>② 病院機能評価等の活用</p> <p>組織的に医療を提供するための基本的な活動や機能を適切に実施しているかを検証するため、病院機能評価等の評価項目による検証を行うため検討した。</p>	3	

		<p>ため、病院機能評価等の評価項目による検証を行うための準備を行う。</p> <p>③ 住民意見の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民意見を病院運営に反映させるため、患者サービス向上委員会を活用した満足度調査の実施や意見箱の設置などにより住民から意見を収集し、サービスの向上を図る。</li> </ul>	<p>③ 住民意見の活用</p> <p>住民意見を病院運営に反映させるため、患者サービス向上委員会を活用した満足度調査を実施した。また、意見箱の設置を行い、現状を把握に努めた。</p>			
2		<p>人材の確保</p>				
	(1)	<p>千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉大学との協定によりメディカルセンター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、医師の養成及びメディカルセンターへの定着を図るとともに、指導医による安定的な診療体制を整備する。</li> </ul>	<p>千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携</p> <p>千葉大学との協定によりメディカルセンター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、医師の養成及びメディカルセンターへの定着を図るとともに、指導医による安定的な診療体制を整備した。</p>	3		
	(2)	<p>医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、臨床研修医の受入れを行い、臨床研修指定病院の指定を目指す。</li> </ul>	<p>医師の確保</p> <p>千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、平成27年9月に臨床研修病院の指定を受け、臨床研修医の受入を開始した。</p>	3		
	(3)	<p>看護師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに看護師確保対策室を設置し、看護師確保の組織体制を強化する。</li> <li>・合同就職説明会への参加、就職説明会・採用試験の複数回実施、インターネットをはじめとした各種媒体への広告掲載、奨学金制度、復職支援研修による休職している看護師資格者の掘り起こし等により、各部門に応じた入院基本料に対応する看護師配置基準による計画的な看護師確保を図る。</li> <li>・城西国際大学等の看護師養成機関からの看護学生の実習を積極的に受け入れ、地域におけ</li> </ul>	<p>看護師の確保</p> <p>新たに設置した看護師確保対策室のもと県内の看護学校への訪問や県内高校への看護師育成を目的とする広報活動を行い看護師確保に努めた。法人独自の活動による合同就職説明会への参加や就職説明会・採用試験の複数回実施を行った。また、インターネットを利用した看護部専用ホームページを作成し広報活動を強化するとともに各種媒体への広告掲載、復職支援研修による休職している看護師資格者の掘り起こし等により、各部門に応じた入院基本料に対応する看護師配置基準による計画的な看護師確保を行った。</p>	2		

		る看護師の育成に寄与する。特に最終学年の学生を対象にインターンシップを実施し、実際の医療現場を経験させることで卒業後のメディカルセンターへの就職希望者の確保を図る。	次年度の看護師確保に向けて奨学金制度の見直しを行い、より多くの奨学生を確保できるよう検討を行った。 城西国際大学看護学部等の看護師養成機関からの看護学生の実習を積極的に受け入れ、インターンシップも行い、実際の医療現場を経験させることで卒業後のメディカルセンターへの就職希望者の確保を図った。							
3		人材育成								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学会、研究会及び研修会への参加と職務上必要な資格の取得を計画的に促進する。</li> <li>・医師については、各分野の認定専門医、看護師については、専門看護師、認定看護師等の資格取得を促進するとともに、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療技術職についても、専門性と医療技術の向上に向けた計画的な研修計画の策定を検討する。</li> <li>・事務職員については、診療情報管理士等の必要な資格取得を促進する。</li> </ul>	学会、研究会及び研修会への参加を促進した。 医師については、各分野の認定専門医、看護師については、専門看護師、認定看護師等の資格取得のための研修や学会発表を行った。薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療技術職についても、専門性と医療技術の向上に向けた研修や学会発表を行った。 事務職員については、医師事務作業補助者の資格取得のための研修に参加した。	3						
4		働きやすい職場環境の整備								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師・看護師宿舎及び院内保育所を充実させる。医師・看護師等の業務負担軽減のための事務補助員を適正配置する。育児短時間勤務制度等の育児中の職員に配慮した勤務形態の運用、職員の休暇取得の促進等の取り組みを進める。</li> </ul>	医師・看護師宿舎の効果的な活用を行った。 院内保育所については、夜勤等の勤務状況を踏まえた受け入れ態勢を整備した。 医師・看護師等の業務負担軽減のための事務補助員を適正配置した。育児短時間勤務制度等の育児中の職員に配慮した勤務形態の運用、職員の休暇取得の促進等を行った。	3						
5		職員給与の原則								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の給与については、法人の業務実績を反映させた給与制度の導入を検討する。</li> </ul> <p>〈関連する数値目標〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成27年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員給与費対医業収益比率</td> <td>58.2%</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成27年度目標	職員給与費対医業収益比率	58.2%	医師の人事異動等に法人の年度内実績を反映させるため、医師の賞与支給日を変更した。 支給日：6月15日・12月10日 →9月15日・3月10日 〈実績数値〉 職員給与費対医業収益比率 69.0%	2		
事 項	平成27年度目標									
職員給与費対医業収益比率	58.2%									

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置					
1		健全な経営基盤の確立			
	(1)	健全な経営基盤の確立			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が経営情報を共有できるよう運営会議に報告するとともに、定期的な説明の場を設ける。</li> <li>・各職員がコスト意識を持って業務を行う体制を構築する。</li> </ul>	<p>全職員が経営情報を共有できるよう平成27年度の運営状況について運営会議に報告した。</p> <p>また、物流委員会で診療材料等の調達に関し、各職員がコスト意識を持って業務を行う体制を構築した。</p>	3	
	(2)	経営情報システムの整備			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務会計システムについては、経営判断や意思決定に資する有効なシステムとなるよう機能の追加や見直しを適宜行い、機能の向上を図る。</li> </ul>	<p>財務会計システムについては、経営判断や意思決定に資する有効なシステムとなるよう顧問である公認会計士の意見を取り入れ機能の追加や見直しを行った。</p>	3	
2		収益の確保と費用の合理化			
	(1)	収益の確保			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟開棟、病床利用率の向上や高度医療機器の稼働率向上等に取り組む。</li> <li>・診療費未収金の発生防止のために入院保証金制度を実施するとともに、未収金状況把握のための定期的な事務会合を行い、適宜臨戸徴収を行う。</li> <li>・保険委員会を中心に査定返戻等の防止に取り組む。</li> </ul>	<p>年度計画とおりの開棟を目指すも看護師の確保状況から予定した病床数の確保は行えなかった。</p> <p>しかし、外来診療単価及び入院診療単価においては、年度目標を達成した。</p> <p>収益確保策として平成28年1月に7対1入院基本料の施設基準を取得した。</p> <p>〈実績数値〉                      平成28年3月末日開棟病床：164床                      ICU:10床 HCU：10床 一般病床：144床                      病床利用率：ICU：75.1% HCU：77.0% 一般病床：83.4%                      外来平均患者数：189.1人/日                      入院平均患者数：129.6人/日</p> <p>診療費未収金の発生防止のために入院保証金制度を実施した。未収金回収対策として督促や催告を行い対応した。</p> <p>〈実績〉</p>	2	

			<p>入院未収金 16,685千円                  外来未収金 593千円</p> <p>医師を中心に多職種で構成された保険委員会を毎月開催し査定返戻等の状況を協議し対策を講じた。</p> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>平成27年度査定率 入院平均 0.71%                  外来平均 0.21%</p> <p>平成27年度返戻率 入院平均 3.31%                  外来平均 0.65%</p>																																		
	(2)	費用の合理化																																			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期的視点で予算編成を行い、予算科目や年度間で弾力的に運用できる地方独立行政法人の会計制度の特性を活かした効率的な予算執行を行うとともに、透明性、公平性の確保に十分留意しつつ民間病院の取組を参考に複数年契約、複合契約等の多様な契約手法の導入や外部委託の活用を図る。</li> <li>・薬品、診療材料の在庫管理を適正に行い院内在庫を必要最小限に抑えるとともに、薬事委員会にてジェネリック医薬品を採用し、費用の節減を図る。</li> </ul> <p>&lt;関連する数値目標&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成27年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収益</td> <td>5,528百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">入院</td> <td>一般病床利用率</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>138.0人/日</td> </tr> <tr> <td>診療報酬単価</td> <td>50,500円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外来</td> <td>平均患者数</td> <td>234.0人/日</td> </tr> <tr> <td>診療報酬単価</td> <td>13,000円</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成27年度目標	経常収益	5,528百万円	入院	一般病床利用率	85%	平均患者数	138.0人/日	診療報酬単価	50,500円	外来	平均患者数	234.0人/日	診療報酬単価	13,000円	<p>中期的視点で予算編成を行い、予算科目や年度間で弾力的に運用できる地方独立行政法人の会計制度の特性を活かした効率的な予算執行を行うとともに、透明性、公平性の確保に十分留意しつつ民間病院の取組を参考に複数年契約、複合契約等の多様な契約手法を採用した。</p> <p>診療材料は、外部委託を活用した預託在庫方式を用いて在庫管理を行い、薬品においては薬剤部を中心に在庫システムを利用した在庫管理を行った。</p> <p>ジェネリック医薬品の採用は少ないながらも薬事委員会で使用数の多い部分の医薬品においてジェネリック医薬品に変更するなどの調整を行い費用の節減を図った。</p> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>後発医薬品採用率 43%</p> <p>&lt;実績数値&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成27年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収益</td> <td>4,612百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">入院</td> <td>一般病床利用率</td> <td>83.4%</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>114.8人/日</td> </tr> <tr> <td>診療報酬単価</td> <td>51,681円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外来</td> <td>平均患者数</td> <td>189.1人/日</td> </tr> <tr> <td>診療報酬単価</td> <td>13,205円</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成27年度実績	経常収益	4,612百万円	入院	一般病床利用率	83.4%	平均患者数	114.8人/日	診療報酬単価	51,681円	外来	平均患者数	189.1人/日	診療報酬単価	13,205円	2	
事 項	平成27年度目標																																				
経常収益	5,528百万円																																				
入院	一般病床利用率	85%																																			
	平均患者数	138.0人/日																																			
	診療報酬単価	50,500円																																			
外来	平均患者数	234.0人/日																																			
	診療報酬単価	13,000円																																			
事 項	平成27年度実績																																				
経常収益	4,612百万円																																				
入院	一般病床利用率	83.4%																																			
	平均患者数	114.8人/日																																			
	診療報酬単価	51,681円																																			
外来	平均患者数	189.1人/日																																			
	診療報酬単価	13,205円																																			

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置					
1	財政負担の原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営費負担金等（地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第85条第1項に基づき設立団体が負担すべき経費及び同法第42条に基づき設立団体が交付できる金額をいう。以下同じ）は、「地方独立行政法人法等の施行に係る公営企業型地方独立行政法人の取扱いについて（平成16年4月1日総財公第39号総務省自治財政局公営企業課長通知）」中、「第一 設立団体が負担すべき経費等について」に定められた基準により、救急医療、災害時医療等の政策医療に係る経費及び高度医療、小児医療、周産期医療等の不採算経費に充てる。</li> <li>・長期借入金等元利償還金に充当する運営費負担金等については料金助成のための運営費負担金等とする。</li> </ul>	<p>財政負担のとおり実施した。</p> <p>総 額： 728,353,000円  東金市： 548,633,000円  九十九里町：179,720,000円</p> <p>長期借入金等元利償還金に充当する運営費負担金の額</p> <p>総 額： 206,487,967円  東金市： 157,258,093円  九十九里町： 49,229,874円</p>	3	
2	地域に対する広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療センターNEWS等の発行やホームページの活用により情報提供を行う。</li> </ul>	<p>ホームページの更新や看護部専用のホームページの設置を行った。また、設立団体の広報に協力をいただき診療科や医師の情報提供を行った。</p>	3	

第5 予算（人件費の見積もりを含む。）収支計画及び資金計画

別表1

予算（平成27年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入	
営業収益	5,315
医業収益	4,757
運営費負担金収益	549
補助金等収益	7
その他営業外収益	2
営業外収益	207
運営費負担金収益	207
その他営業外収益	
資本収入	950
運営費負担金収益	300
長期借入金	650
その他資本収入	
その他の収入	500
計	6,972
支出	
営業費用	5,513
医業費用	5,241
給与費	2,539
材料費	1,284
経費	1,410
その他医業費用	8
一般管理費	272
営業外費用	132
資本支出	805
建設改良費	300
償還金	494
その他資本支出	11
その他の支出	350
計	6,800

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。  
(注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

【人件費の見積り】

総額2,767百万円を支出する。

なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、

別表1

予算（平成27年度）

（単位：百万円）

区 分	予算額	決算額	差額
収入			
営業収益	5,315	4,382	▲ 933
医業収益	4,757	3,619	▲ 1,138
運営費負担金収益	549	728	179
補助金等収益	7	9	2
その他営業外収益	2	25	23
営業外収益	207	230	23
運営費負担金収益	207	206	▲ 1
その他営業外収益		24	24
資本収入	950	1,264	314
運営費負担金収益	300	299	▲ 1
長期借入金	650	965	315
その他資本収入			
その他の収入	500	500	
計	6,972	6,377	▲ 595
支出			
営業費用	5,513	5,241	▲ 272
医業費用	5,241	5,025	▲ 216
給与費	2,539	2,303	▲ 236
材料費	1,284	1,175	▲ 109
経費	1,410	1,543	133
その他医業費用	8	5	▲ 3
一般管理費	272	216	▲ 56
営業外費用	132	132	
資本支出	805	607	▲ 198
建設改良費	300	99	▲ 201
償還金	494	494	
その他資本支出	11	14	3
その他の支出	350	350	
計	6,800	6,330	▲ 470

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。  
(注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

【人件費の見積り】

総額2,767百万円を支出する。

なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、

基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

別表2  
収支計画（平成27年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入の部	5,528
営業収益	5,321
医業収益	4,757
運営費負担金収益	549
補助金等収益	7
資産見返運営費負担金戻入	6
その他営業収益	2
営業外収益	207
運営費負担金収益	207
その他営業外収益	
臨時利益	
支出の部	6,586
営業費用	6,454
医業費用	6,178
給与費	2,588
材料費	1,284
経費	1,410
減価償却費	888
その他医業費用	8
一般管理費	276
営業外費用	132
臨時損失	
純利益	▲ 1,058
目的積立金取崩額	
総利益	▲ 2,643

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。  
(注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

別表2  
収支計画（平成27年度）

（単位：百万円）

区 分	予算額	決算額	差額
収入の部	5,528	4,612	▲ 916
営業収益	5,321	4,382	▲ 939
医業収益	4,757	3,619	▲ 1,138
運営費負担金収益	549	728	179
補助金等収益	7	9	2
資産見返運営費負担金戻入	6	23	17
その他営業収益	2	3	1
営業外収益	207	230	23
運営費負担金収益	207	206	▲ 1
その他営業外収益		24	24
臨時利益			
支出の部	6,586	6,268	▲ 318
営業費用	6,454	5,937	▲ 517
医業費用	6,178	5,721	▲ 457
給与費	2,588	2,303	▲ 285
材料費	1,284	1,175	▲ 109
経費	1,410	1,543	133
減価償却費	888	695	▲ 193
その他医業費用	8	5	▲ 3
一般管理費	276	216	▲ 60
営業外費用	132	131	▲ 1
臨時損失		200	200
純利益	▲ 1,058	▲ 1,656	598
目的積立金取崩額			
総利益	▲ 2,643	▲ 3,196	553

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。  
(注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。



別表3  
資金計画（平成27年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
資金収入	6,972
業務活動による収入	5,522
診療業務による収入	4,757
運営費負担金による収入	756
補助金等収入	7
その他の業務活動による収入	2
投資活動による収入	300
運営費負担金による収入	300
その他の投資活動による収入	
財務活動による収入	1,150
長期借入れによる収入	650
その他の財務活動による収入	500
前期中期目標の期間よりの繰越金	
資金支出	6,800
業務活動による支出	5,645
給与費支出	2,767
材料費支出	1,284
その他の業務活動による支出	1,594
投資活動による支出	311
有形固定資産の取得による支出	300
その他の投資活動による支出	11
財務活動による支出	844
長期借入金の返済による支出	844
その他の財務活動による支出	
資金収支差額	172
翌事業年度への繰越金	408

（注1）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。  
（注2）期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

別表3  
資金計画（平成27年度）

（単位：百万円）

区 分	予算額	決算額	差額
資金収入	6,972	6,258	▲ 714
業務活動による収入	5,522	4,793	▲ 729
診療業務による収入	4,757	3,488	▲ 1,269
運営費負担金による収入	756	935	179
補助金等収入	7	309	302
その他の業務活動による収入	2	61	59
投資活動による収入	300	294	▲ 6
運営費負担金による収入	300	294	▲ 6
その他の投資活動による収入			
財務活動による収入	1,150	1,171	21
長期借入れによる収入	650	671	21
その他の財務活動による収入	500	500	
前期中期目標の期間よりの繰越金			
資金支出	6,800	5,971	▲ 829
業務活動による支出	5,645	4,669	▲ 976
給与費支出	2,767	2,521	▲ 246
材料費支出	1,284	914	▲ 370
その他の業務活動による支出	1,594	1,234	▲ 360
投資活動による支出	311	326	15
有形固定資産の取得による支出	300	312	12
その他の投資活動による支出	11	14	3
財務活動による支出	844	976	132
長期借入金の返済による支出	844	494	▲ 350
その他の財務活動による支出		482	482
資金収支差額	172	287	115
翌事業年度への繰越金	408	317	▲ 91

（注1）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。  
（注2）期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

第6 短期借入金の限度額

1	限度額			
	500百万円	500百万円の短期借入		
		借入先：千葉興業銀行東金サンピア支店		

2	想定される短期借入金の発生事由 (1) 運営費負担金等の受入遅延等による資金不足への対応 (2) その他、偶発的な資金不足への対応	運転資金等の資金不足により短期借入れを行った。			
第7 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産の処分に関する計画					
		平成27年度は該当する財産の処分はない。			
第8 前章に規定する財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画					
		平成27年度においては、重要な財産の譲渡等に関する計画はない。			
第9 余剰金の使途					
		平成27年度においては、該当する剰余金がない。			
第10 料金に関する事項					
1	料金				
	省略	省略			
第11 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項					
1	施設及び設備に関する計画 1 施設及び設備に関する計画 施設及び設備の内容 医療機器等の購入 備考 1 金額については、見込みである。 2 各事業年度の東金市及び九十九里町長期借入金等の具体的な額については、各事業年度の予算編成過程において決定される。 3 医療機器等の選定にあたっては、費用対効果、地域住民の医療需要、償還等の負担を十分に考慮した上で行う。	医療機器等の購入費として総額294百万円を借入した。 財源：東金市及び九十九里町長期借入金			
2	積立金の処分に関する計画				
		平成27年度においては、積立金の処分に関する計画はない。			

《参考資料》

# 東千葉メディカルセンターの運営状況について (平成27年度)

平成27年4月1日～平成28年3月31日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター



(参考1)山武郡市広域行政組合 管内・管外搬送率表

		(参考)		第1四半期						第2四半期						第3四半期						第4四半期						月平均	
		H26月平均		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		月平均	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
軽症	管内	248	79.1%	225	73.5%	241	75.1%	208	78.2%	270	80.6%	274	77.2%	245	75.9%	181	73.6%	194	75.8%	205	76.8%	200	75.5%	173	72.4%	193	69.4%	217	75.3%
	管外	66	20.9%	81	26.5%	80	24.9%	58	21.8%	65	19.4%	81	22.8%	78	24.1%	65	26.4%	62	24.2%	62	23.2%	65	24.5%	66	27.6%	85	30.6%	71	24.7%
	計	314		306		321		266		335		355		323		246		256		267		265		239		278		288	
中等症	管内	224	69.9%	214	68.8%	253	73.8%	230	75.9%	251	74.7%	256	71.7%	265	71.0%	251	73.0%	246	73.7%	236	67.2%	265	72.4%	211	66.6%	232	68.6%	243	71.5%
	管外	96	30.1%	97	31.2%	90	26.2%	73	24.1%	85	25.3%	101	28.3%	108	29.0%	93	27.0%	88	26.3%	115	32.8%	101	27.6%	106	33.4%	106	31.4%	97	28.5%
	計	320		311		343		303		336		357		373		344		334		351		366		317		338		340	
重症・死亡	管内	61	66.7%	57	72.2%	69	65.1%	64	71.1%	50	71.4%	46	70.8%	48	69.6%	61	71.8%	55	76.4%	70	72.2%	75	71.4%	67	73.6%	57	66.3%	60	70.6%
	管外	30	33.3%	22	27.8%	37	34.9%	26	28.9%	20	28.6%	19	29.2%	21	30.4%	24	28.2%	17	23.6%	27	27.8%	30	28.6%	24	26.4%	29	33.7%	25	29.4%
	計	91		79		106		90		70		65		69		85		72		97		105		91		86		85	
合計	管内	533	73.5%	496	71.3%	563	73.1%	502	76.2%	571	77.1%	576	74.1%	558	72.9%	493	73.0%	495	74.8%	511	71.5%	540	73.4%	451	69.7%	482	68.7%	520	72.9%
	管外	192	26.5%	200	28.7%	207	26.9%	157	23.8%	170	22.9%	201	25.9%	207	27.1%	182	27.0%	167	25.2%	204	28.5%	196	26.6%	196	30.3%	220	31.3%	193	27.1%
	計	725		696		770		659		741		777		765		675		662		715		736		647		702		713	

※山武郡市広域行政組合救急搬送人員データを東金市医療センター推進課で集計して作成。

(参考2)山武郡市広域行政組合 管内医療機関別表

Table with columns for medical facilities, reference, and quarterly data (第1四半期 to 第2四半期) for various symptoms and counts.

Table with columns for medical facilities and quarterly data (第3四半期 to 第4四半期) for various symptoms and counts.

※山武郡市広域行政組合救急搬送人員データを東金市医療センター推進課で集計して作成。

## 2. 職種別職員数等の状況

(1) 職種別職員数(常勤職員)

(単位:人)

	第1四半期 (H27.4.1)	第2四半期 (H27.7.1)	第3四半期 (H27.10.1)	第4四半期 (H28.1.1)	平成27年度末	平成27年度 目標
医師	36	37	37	37	37	48
看護師	148	159	154	158	155	199
薬剤師	13	13	13	13	13	
臨床検査技師	13	13	13	15	14	
診療放射線技師	11	11	11	11	11	
理学療法士	5	5	4	4	4	
作業療法士						
臨床工学技士	3	4	4	4	4	
管理栄養士	3	3	3	3	3	
医療ソーシャルワーカー	3	3	2	2	2	
看護補助者	15	15	14	14	13	
事務職員	26	26	24	25	26	
その他						
計	276	289	279	286	282	

(2) 診療科別医師数(非常勤を含む)

(単位:人)

	第1四半期(H27.4.1)		第2四半期(H27.7.1)		第3四半期(H27.10.1)		第4四半期(H28.1.1)		平成27年度末	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
内科		3		3		3		3		3
消化器内科	4		4		4		4		4	
神経内科	2		2		2		2		2	
呼吸器内科	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4
循環器内科	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2
代謝・内分泌内科	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1
小児科	2	1	2	1	2	2	2	2	2	2
外科	4		4		4		4		4	
心臓血管外科	2		2		2		2		2	
整形外科	5	2	6	2	6	1	6	1	6	1
脳神経外科	1	3	1	3	1	3	1	3	1	3
形成外科	1		1		1		1		1	
産婦人科		1		1		1		1		1
リハビリテーション科	1		1		1		1		1	
放射線科		3		3		3		3		3
麻酔科		6		6		6		6		6
精神科		1		1		1		1		1
救急科	6	1	6	1	6	1	6	1	6	1
計	36	28	37	28	37	28	37	28	37	28

※非常勤医師については、週あたりの勤務人数

### 3. 診療科別外来・入院延患者数の状況

#### (1) 外来延患者数

(単位:人)

	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
【診療日数】	21日	18日	22日	22日	21日	19日	21日	19日	19日	19日	20日	22日	243日
内科	60	73	100	106	131	97	118	132	106	110	125	114	1,272
消化器内科	547	517	605	688	522	605	738	682	650	665	695	761	7,675
神経内科	114	112	121	100	110	89	140	137	118	131	139	121	1,432
呼吸器内科	247	259	313	393	331	346	386	353	385	364	328	370	4,075
循環器内科	381	346	403	347	428	393	443	394	442	413	469	514	4,973
代謝・内分泌内科	46	85	143	165	181	205	228	224	216	243	245	286	2,267
小児科	384	388	420	399	412	399	479	521	679	531	603	625	5,840
外科	110	86	118	103	146	140	157	161	168	158	177	225	1,749
心臓血管外科	46	59	59	67	43	45	54	74	65	50	69	61	692
整形外科	776	810	867	868	915	802	975	876	870	895	923	1,020	10,597
脳神経外科	85	86	116	110	85	106	98	109	94	100	90	121	1,200
形成外科	19	76	72	84	111	108	100	142	148	133	129	109	1,231
産婦人科	22	15	21	22	23	31	31	37	21	22	36	32	313
リハビリテーション科	0	0	1	0	0	0	0	0	25	62	53	52	193
救急科	221	205	230	194	259	233	207	178	207	175	188	140	2,437
計	3,058	3,117	3,589	3,646	3,697	3,599	4,154	4,020	4,194	4,052	4,269	4,551	45,946

平成26年度  
実績  
28,234

#### ☆ 年度計画数値目標の状況

	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			平成27年度 実績	平成26年度 実績
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
外来平均患者数	145.6人/日	173.2人/日	163.1人/日	165.7人/日	176.0人/日	189.4人/日	197.8人/日	211.6人/日	220.7人/日	213.3人/日	213.5人/日	206.9人/日	189.1人/日	115.7人/日
外来診療単価(1日1人当り)	12,721円	13,301円	13,251円	13,875円	12,938円	12,855円	13,230円	13,520円	12,942円	13,130円	13,045円	13,547円	13,205円	12,285円
													平成27年度 目標	
													234.0人/日	
													13,000円	

【出典】医事統計(診療科・行為別請求額)

なお、外来平均患者数は「外来延患者数÷診療日数」で算出(小数点以下第2位を四捨五入)



## (2)入院延患者数

(単位:人)

	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
消化器内科	666	574	750	497	555	594	709	535	462	683	638	556	7,219	
神経内科	28	18	32	70	43	54	60	79	60	79	17	23	563	
呼吸器内科	183	344	331	318	256	227	207	298	294	304	286	290	3,338	
循環器内科	250	391	254	292	420	325	399	406	353	352	365	401	4,208	
代謝・内分泌内科	0	52	82	6	37	46	61	24	53	24	42	34	461	
小児科	28	17	49	49	50	78	37	0	86	28	80	48	550	
外科	320	278	355	406	376	407	526	400	593	404	374	490	4,929	
心臓血管外科	111	142	154	107	74	85	131	104	133	124	127	137	1,429	
整形外科	924	1,024	948	1,170	887	921	932	1,115	1,213	1,157	1,155	1,268	12,714	
脳神経外科	110	40	70	190	148	93	87	71	43	105	152	137	1,246	
形成外科	0	2	10	3	24	4	0	13	56	41	73	16	242	
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
救急科	582	693	787	878	948	1,065	818	970	1,020	1,145	813	964	10,683	
計	3,202	3,575	3,822	3,986	3,818	3,899	3,967	4,015	4,366	4,446	4,122	4,364	47,582	
													平成26年度 実績	33,876

## ☆ 年度計画数値目標の状況

	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			平成27年度 実績	平成27年度 目標	平成26年度 実績
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
病床利用率															
一般病床 (実質病床利用率)	89.0%	88.3%	88.4%	79.6%	74.3%	78.2%	85.1%	83.1%	85.8%	86.9%	87.8%	87.3%	83.4%	85%	80%
ICU	80.3%	81.9%	66.7%	64.8%	81.3%	81.7%	80.3%	70.7%	75.5%	79.0%	70.0%	68.7%	75.1%	85%	78.2%
HCU	91.3%	87.1%	72.3%	64.5%	69.0%	79.0%	72.6%	81.7%	77.7%	85.2%	71.4%	73.2%	77.0%	90%	81.2%
稼働病床数															
一般病床 (実質稼働病床数)	100床	111床	144床	144床	144床	144床	144床	144床	144床	144床	144床	144床	144床	144床	100床
【許可病床数】	100床	126床	144床	144床	144床	144床	144床	144床	144床	144床	144床	144床	144床	210床	(92床)
ICU	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床
HCU	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床	10床
入院平均患者数															
一般病床	89.0人/日	98.0人/日	113.1人/日	114.5人/日	107.0人/日	112.6人/日	122.5人/日	119.7人/日	123.6人/日	125.2人/日	126.4人/日	125.7人/日	114.8人/日	138.0人/日	67.5人/日
ICU	8.0人/日	8.2人/日	6.7人/日	6.5人/日	8.1人/日	8.2人/日	8.人/日	7.1人/日	7.5人/日	7.9人/日	7.人/日	6.9人/日	7.5人/日	8.5人/日	7.8人/日
HCU	9.1人/日	8.7人/日	7.2人/日	6.5人/日	6.9人/日	7.9人/日	7.3人/日	8.2人/日	7.8人/日	8.5人/日	7.1人/日	7.3人/日	7.7人/日	9.0人/日	8.1人/日
平均在院日数															
一般病床		13.5日			13.1日			14.2日			13.0日		13.2日		
ICU		11.5日			11.8日			12.4日			12.1日		11.9日		
HCU		5.3日			4.5日			6.0日			5.6日		5.2日		
入院診療単価(1日1人当り)															
一般病床	49,555円	49,238円	52,753円	52,402円	48,749円	47,865円	55,855円	51,211円	50,515円	51,572円	54,226円	57,597円	51,681円	50,500円	46,458円
ICU	273,407円	307,672円	299,734円	224,948円	194,305円	197,026円	203,219円	210,857円	277,390円	180,374円	239,866円	215,213円	234,791円	178,000円	190,460円
HCU	80,461円	90,666円	88,380円	87,673円	81,388円	100,741円	81,744円	69,584円	79,378円	62,470円	65,842円	77,103円	80,422円	143,000円	74,396円
紹介率・逆紹介率															
紹介率	48.13%	57.12%	46.91%	58.30%	55.51%	63.80%	63.29%	57.18%	59.07%	57.25%	61.29%	59.27%	57.25%	65%	55.3%
逆紹介率	37.45%	45.85%	44.44%	48.56%	43.21%	46.89%	43.97%	44.44%	41.58%	46.77%	45.83%	49.91%	44.61%	40%	44.0%

## 4. 主要な経営指標等の推移について

(単位:百万円)

	上半期		下半期		合計	平成27年度 目標
	自 H27.4.1	至 H27.9.30	自 H27.10.1	至 H28.3.31		
経常収益	2,062		2,550		4,612	5,528
医業収益	1,698		1,921		3,619	4,757
職員給与費	1,177		1,320		2,497	
職員給与費対医業収益比率	69.3%		68.7%		69.0%	58.2%
当期利益(当期損失) <sup>※注</sup>	△ 864		△ 792		△ 1,656	△ 1,058
現金及び現金同等物の期末残高	39		316			

※注

当期純利益(△当期純損失) = 総収益(営業収益+営業外収益+臨時収益) - 総費用(営業費用+営業外費用+臨時損失)

臨時損失 = 「過年度長期前払消費税償却額」△90百万円、「過年度控除対象外消費税額」△109百万円

## 財務諸表に対する意見聴取の方針

平成23年5月30日

地方独立行政法人

東金九十九里地域医療センター評価委員会

## 1. 評価委員会による意見聴取の方針

地方独立行政法人法では、地方独立行政法人の財務諸表についての設立団体の長の承認は、評価委員会の意見を聴取して行うこととなっている。(法第34条)

財務諸表は、住民その他の利害関係者の判断を誤らせることのないよう財務状況及び運営状況を適切に表す必要があるため、次のとおり法規性の遵守及び表示内容の適正性について評価委員会において確認するものとする。

なお、財務諸表等の数値については監事による監査の対象となっているため、主要な計数等について確認するものとする。

## 2. 確認の内容

## (1) 法規性の遵守

確認項目	備考
1. 提出期限は遵守されたか (法第34条第1項)	・事業年度終了後、3月以内
2. 必要書類は全て提出されたか (法第34条第1項、第2項)	・財務諸表(貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書、利益の処分又は損失の処理に関する書類、行政サービス実施コスト計算書、附属明細書) ・決算報告書 ・事業報告書 ・監事の監査報告書
3. 監事の監査報告書に、財務諸表の承認にあたり考慮すべき意見はないか	

## (2) 表示内容の適正性

確認項目	備考
1. 記載すべき項目について、明らかな遺漏はないか	・表示科目、会計方針、注記等 (地方独立行政法人会計基準に基づく)
2. 計数は整合しているか	
3. 書類相互間における数値整合はとれているか	

# 財務諸表

平成27年度  
(第6期事業年度)

自 平成27年 4月 1日  
至 平成28年 3月31日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

## 目 次

貸借対照表	-----	3
損益計算書	-----	4
キャッシュ・フロー計算書	-----	5
利益の処分に関する書類	-----	6
行政サービス実施コスト計算書	-----	7
注記事項	-----	8
附属明細書	-----	11
(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費(「第85 特定の償却資産の減価にかかる会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)の明細	-----	12
(2) たな卸資産の明細	-----	13
(3) 有価証券の明細	-----	13
(4) 長期貸付金の明細	-----	13
(5) 長期借入金の明細	-----	13
(6) 引当金の明細	-----	13
(7) 資産除去債務の明細	-----	14
(8) 保証債務の明細	-----	14
(9) 資本金及び資本剰余金の明細	-----	14
(10) 積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細	-----	14
(11) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細	-----	14
(12) (運営費負担金以外の)地方公共団体等からの財源措置の明細	-----	14
(13) 役員及び職員の給与の明細	-----	14
(14) 開示すべきセグメント情報	-----	15
(15) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	-----	15

**貸借対照表**  
(平成28年3月31日)

【単位:円】

資産の部		負債の部	
<b>I 固定資産</b>		<b>I 固定負債</b>	
1 有形固定資産		資産見返運営費負担金	67,434,697
土地	905,510,550	建設仮勘定見返運営費負担金	
建物	4,916,071,823	建設仮勘定見返補助金等	
建物減価償却累計額	△ 253,857,540	長期預り補助金等	2,803,941
建物附属設備	3,057,872,304	資産見返補助金等	
建物附属設備減価償却累計額	△ 433,425,274	長期借入金	10,825,058,171
構築物	417,496,311	退職給付引当金	103,146,352
構築物減価償却累計額	△ 45,992,103	<b>固定負債合計</b>	<b>10,998,443,161</b>
器械備品(医療機器)	3,087,985,982	<b>II 流動負債</b>	
器械備品減価償却累計額(医療機器)	△ 975,389,073	短期借入金	500,000,000
器械備品(一般)	151,020,155	一年以内返済予定長期借入金	567,041,566
器械備品減価償却累計額(一般)	△ 56,614,604	医業未払金	646,338,137
その他有形固定資産		医業外未払金	3,934,673
有形固定資産合計	10,770,678,531	その他未払金	221,369,760
2 無形固定資産		仮受金	
ソフトウェア		預り金	52,732,377
その他無形固定資産		運営費負担金債務	
無形固定資産合計	0	賞与引当金	61,923,041
3 投資その他の資産		その他流動負債	
長期前払費用		<b>流動負債合計</b>	<b>2,053,339,554</b>
長期貸付金	74,974,791	<b>負債合計</b>	<b>13,051,782,715</b>
長期前払消費税	423,501,933	<b>純資産の部</b>	
その他投資資産	199,800	<b>I 資本金</b>	95,235,850
投資その他の資産合計	498,676,524	設立団体出資金(東金市)	70,093,585
<b>固定資産合計</b>	<b>11,269,355,055</b>	設立団体出資金(九十九里町)	25,142,265
<b>II 流動資産</b>		<b>II 資本剰余金</b>	2,266,717,204
現金及び預金	316,779,761	資本剰余金(運営費負担金)	10,550
医業未収金	597,807,648	資本剰余金(補助金等)	2,620,239,886
医業外未収金	7,715,021	損益外減価償却累計額	△ 353,533,232
貸倒引当金		<b>III 利益剰余金</b>	
医薬品	24,268,519	積立金	
診療材料		当期未処分損失	△ 3,196,496,647
前払費用	1,313,118	(うち当期総損失)	△ 1,656,195,299
仮払金		利益剰余金合計	△ 3,196,496,647
<b>流動資産合計</b>	<b>947,884,067</b>	<b>純資産合計</b>	<b>△ 834,543,593</b>
<b>資産合計</b>	<b>12,217,239,122</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>12,217,239,122</b>

## 損益計算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

【単位:円】

<b>営業収益</b>			
<b>医業収益</b>			
入院収益	2,964,240,407		
外来収益	550,369,365		
その他医業収益	104,254,565	3,618,864,337	
運営費負担金収益		728,353,000	
補助金等収益		9,477,000	
資産見返運営費負担金戻入		22,604,287	
資産見返補助金戻入		0	
雑益		2,790,295	
<b>営業収益合計</b>			<b>4,382,088,919</b>
<b>営業費用</b>			
<b>医業費用</b>			
給与費	2,303,045,864		
材料費	1,174,907,447		
減価償却費	694,844,398		
経費	1,543,449,253		
研究研修費	4,835,900		
たな卸資産減耗費		5,721,082,862	
<b>一般管理費</b>			
給与費	194,199,290		
減価償却費	21,753,339		
経費	0	215,952,629	
<b>営業費用合計</b>			<b>5,937,035,491</b>
<b>営業利益(△は営業損失)</b>			<b>△ 1,554,946,572</b>
<b>営業外収益</b>			
運営費負担金収益		206,487,967	
財務収益		35,599	
その他営業外収益		23,841,361	
<b>営業外収益合計</b>			<b>230,364,927</b>
<b>営業外費用</b>			
財務費用		131,559,022	
その他営業外費用		51,950	
<b>営業外費用合計</b>			<b>131,610,972</b>
<b>経常利益(△は経常損失)</b>			<b>△ 1,456,192,617</b>
<b>臨時損失</b>			
固定資産除却損		1,002,682	
過年度損益修正損		199,000,000	
<b>臨時損失合計</b>			<b>200,002,682</b>
<b>当期純利益(△は当期純損失)</b>			<b>△ 1,656,195,299</b>
目的積立金取崩額			
<b>当期総利益(△は当期総損失)</b>			<b>△ 1,656,195,299</b>

**キャッシュ・フロー計算書**  
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

【単位:円】

<b>I 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
材料の購入による支出	△ 913,942,130
人件費支出	△ 2,521,127,157
その他の業務支出	△ 1,234,384,610
医業収入	3,487,896,973
運営費負担金収入	934,840,967
補助金等収入	309,275,886
預り金の増加額	16,811,191
前事業年度消費税還付金	20,181,805
その他	24,439,001
小計	123,991,926
利息の受取額	35,599
利息の支払額	△ 131,559,022
<b>業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 7,531,497</b>
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△ 312,067,441
有形固定資産の売却による収入	
貸付による支出	△ 14,280,000
投資資産の取得による支出	△ 199,800
運営費負担金収入	
補助金等収入	0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 326,547,241</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	500,000,000
短期借入金の返済による支出	△ 350,000,000
長期借入れによる収入	965,100,000
長期借入金の返済による支出	△ 493,800,263
運営費負担金収入	
その他の支出	△ 51,950
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>621,247,787</b>
<b>IV 資金増加額(△は資金減少額)</b>	<b>287,169,049</b>
<b>V 資金期首残高</b>	<b>29,610,712</b>
<b>VI 資金期末残高</b>	<b>316,779,761</b>

**注記事項**

資金の期末残高と貸借対照表科目別の内訳は、次のとおりです。

現金及び預金	316,779,761 円
資金期末残高	316,779,761 円



**損失の処理に関する書類**  
(平成28年5月25日)

【単位:円】

科目	金額
I 当期末処分損失	△ 3,196,496,647
当期総損失	△ 1,656,195,299
(前期繰越欠損金)	△ 1,540,301,348
II 損失処分量	0
積立金取崩額	0
III 次期繰越欠損金	△ 3,196,496,647

**行政サービス実施コスト計算書**  
(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

【単位:円】

科目	金額	
<b>I 業務費用</b>		
(1)損益計算書上の費用		
医業費用	5,721,082,862	
一般管理費	215,952,629	
営業外費用	131,610,972	
臨時損失	200,002,682	6,268,649,145
(2)(控除)自己収入等		
医業収益	△ 3,618,864,337	
寄附金収益		
受託収入		
その他営業収益	△ 2,790,295	
その他営業外収益等	△ 23,841,361	△ 3,645,495,993
業務費用合計		2,623,153,152
(うち 減価償却充当補助金相当額)		
<b>II 損益外減価償却費相当額</b>		353,533,232
<b>II 機会費用</b>		
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用		
地方公共団体出資の機会費用	△ 1,283,923	△ 1,283,923
<b>III 行政サービス実施コスト</b>		2,975,402,461

## 注記事項

### I 継続企業の前提に関する注記

#### ① 継続企業の前提に関する重要事象等

当法人は平成 22 年 10 月に地方独立行政法人として設立し、救急医療、急性期医療に軸足を置いた地域中核病院という使命のもと平成 26 年 4 月に東千葉メディカルセンター(病床数 314 床)を開院しました。当事業年度においては、医業収益は 3,619 百万円を計上しましたが、営業損失 1,555 百万円、当期総損失 1,656 百万円を計上し、新病院開院時初年度の損失と併せて純資産残高は△835 百万円となり債務超過の状況となっております。

#### ② 当該状況を解消するための対応策

当法人では、医師看護師の確保を積極的に実施し稼働病床数を当事業年度末において 164 床まで稼働病床数を増加し収支状況の改善に努めているところです。あわせて当該債務超過の状況を解消すべく次の施策を行うこととしております。

- ・第 2 期中期計画(平成 26 年度～平成 29 年度)の変更
- ・中期計画変更に伴う平成 28 年度の設立団体及び千葉県からの総額 1,000 百万円の財政支援を予定しております。財政支援は、2 回に分けて行う予定となり、平成 28 年 4 月に 700 百万円が入金予定となります。

なお、平成 28 年度の財政支援の内訳は、特別運営費負担金 359 百万円(東金市 266 百万円、九十九里町 93 百万円)及び千葉県から設立団体に対する事業債償還支援金の前倒しによる長期借入 641 百万円を予定しております。

#### ③ 重要な不確実性が認められる旨及びその理由

しかしながら、新病院開院にあたり資本金を財源とせず事業債による借入等を財源とした状況が依然継続するため、新病院開院当初には避けられない損失の累積とその解消までには相応の時間を要することとなります。

したがって今後において継続企業の前提に関する重要な不確実性が当事業年度においては生じております。このため、当法人にとりましては資本金の増強が今後の継続企業の前提を確保するための最重要課題と認識しております。

#### ④ 財務諸表は継続企業を前提として作成

なお、財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を財務諸表に反映していません。

## II 重要な会計方針

1. 運営費負担金収益及び運営費交付金収益の計上基準  
期間進行基準を採用しています。
2. 減価償却の会計処理方法  
有形固定資産  
定額法を採用しております。  
なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建物	6	～	47	年
構築物	10	～	40	年
器械備品	3	～	10	年
3. 退職給付に係る引当金の計上基準  
職員の退職給付に備えるため、退職給付債務に基づき計上しています。
4. 賞与引当金の計上基準  
次年度以降の職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込み額を計上しております。
5. たな卸資産の評価基準及び評価方法  
医薬品 最終仕入原価法に基づく低価法によっております。
6. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法  
地方公共団体出資の機会費用の計算方法  
新発 10 年国債の平成 28 年 3 月末利回りを参考に▲0.049%で計算しています。
7. 消費税等の会計処理  
消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっています。
8. リースの会計処理  
重要性が乏しい（未経過リース料の期末残高が当該期末残高、有形固定資産及び無形固定資産の期末残高の合計額に占める割合が 10 パーセント未満である）ため、記載を省略しております。

## III 重要な後発事象

次年度の財政状況における重要な後発事象として平成 27 年度までの事業年度において中期目標及び中期計画で未達事項が明らかとなり、平成 28 年度において中期目標及び中期計画の変更を行う

## IV キャッシュフロー計算書関係

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	316,779,761 円
資金期末残高	316,779,761 円

#### **V オペレーティング・リース取引関係**

該当ありません。

#### **VI 減損関係**

##### 1. 固定資産のグルーピングの方法

当法人は1病院を経営しており、法人全体を固定資産のグルーピングとしております。

#### **VII 金融商品関係**

##### 1. 金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金調達については、設立団体である東金市・九十九里町からの借入により調達しております。資金の用途については、運転資金であり、年度計画に従って資金調達をしております。

また短期借入金については、地方独立行政法人法第41条に基づき、認可中期計画の短期借入金の限度額の範囲内で1年以内に返済する借入金の契約を行い、資金調達を行っております。

#### **VIII その他重要事項**

該当ありません。

# 附 属 明 细 书

(1) 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第85 特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）の明細

【単位：円】

資産の種類	期首 残高	当期 増加額	当期 減少額	期末 残高	減価償却累計額		差引当期末 残高	摘要	
						当期償却額			
有形固定 資産 (償却費損 益内)	建物	3,660,692,776			3,660,692,776	189,031,912	95,744,142	3,471,660,864	
	建物附属設備	3,034,598,103			3,034,598,103	429,879,208	217,036,554	2,604,718,895	
	構築物	357,865,740	1,582,000		359,447,740	36,111,687	18,280,932	323,336,053	
	器械備品(医療機器)	2,021,112,531	287,486,520	1,203,700	2,307,395,351	700,107,951	363,782,770	1,607,287,400	
	器械備品(一般)	133,014,295			133,014,295	50,600,660	21,753,339	82,413,635	
	その他								
	計	9,207,283,445	289,068,520	1,203,700	9,495,148,265	1,405,731,418	716,597,737	8,089,416,847	
有形固定 資産 (償却費損 益外)	建物	1,255,379,047			1,255,379,047	64,825,628	32,412,814	1,190,553,419	
	建物附属設備	23,274,201			23,274,201	3,546,066	1,773,033	19,728,135	
	構築物	58,048,571			58,048,571	9,880,416	4,940,208	48,168,155	
	器械備品(医療機器)	780,590,631			780,590,631	269,267,178	134,633,589	511,323,453	
	器械備品(一般)	18,005,860			18,005,860	6,013,944	3,006,972	11,991,916	
	その他								
	計	2,135,298,310			2,135,298,310	353,533,232	176,766,616	1,781,765,078	
非償却資産	土地	905,510,550			905,510,550			905,510,550	
	その他								
	計	905,510,550			905,510,550			905,510,550	
有形固定 資産合計	土地	905,510,550			905,510,550			905,510,550	
	建物	4,916,071,823			4,916,071,823	253,857,540	128,156,956	4,662,214,283	
	建物附属設備	3,057,872,304			3,057,872,304	433,425,274	218,809,587	2,624,447,030	
	構築物	415,914,311	1,582,000		417,496,311	45,992,103	23,221,140	371,504,208	
	器械備品(医療機器)	2,801,703,162	287,486,520	1,203,700	3,087,985,982	969,375,129	498,416,359	2,118,610,853	
	器械備品(一般)	151,020,155			151,020,155	56,614,604	24,760,311	94,405,551	
	その他								
	計	12,248,092,305	289,068,520	1,203,700	12,535,957,125	1,759,264,650	893,364,353	10,776,692,475	
無形固定 資産	ソフトウェア								
	その他								
	計								
投資その 他の資産	長期貸付金	67,414,791	14,280,000	6,720,000	74,974,791			74,974,791	
	その他								
	計	67,414,791	14,280,000	6,720,000	74,974,791			74,974,791	

## (2) たな卸資産の明細

【単位:円】

種 類	期 首 残 高	当期増加額		当期減少額		期 末 残 高	摘 要
		当期購入・ 製造・振替	その他	払出・振替	その他		
医薬品	34,679,086	358,677,013		369,087,580		24,268,519	
診療材料		754,880,633		754,880,633			
貯蔵品(医療消耗備品)		50,939,234		50,939,234			
計		1,164,496,880		1,174,907,447		24,268,519	

## (3) 有価証券の明細

該当事項はありません。

## (4) 長期貸付金の明細

【単位:円】

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			回収額	償却額		
奨学金	67,414,791	14,280,000		6,720,000	74,974,791	
計	67,414,791				74,974,791	

## (5) 長期借入金の明細

【単位:円】

区分	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高	利率	返済期限	摘要
平成22年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	905,500,000		28,600,018	876,899,982	1.9%	平成53年 3月20日	土地購入
平成23年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	138,900,000			138,900,000	1.7%	平成54年 3月20日	実施設計 業務委託
平成24年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	1,498,900,000			1,498,900,000	1.5%	平成55年 3月20日	建設工事 工事監理
平成25年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	2,318,300,000			2,318,300,000	1.6%	平成55年 9月20日	建設工事
平成25年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	3,303,000,000			3,303,000,000	1.4%	平成56年 3月20日	建設工事 工事監理
平成25年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	1,393,540,526		463,585,255	929,955,271	0.2%	平成31年 3月20日	設備整備費
平成26年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	600,000,000			600,000,000	0.08%	平成36年 3月20日	運営費
平成26年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	218,859,211		62,375,032	156,484,179	0.2%	平成31年 9月20日	設備整備費
平成26年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金	50,000,000		12,481,261	37,518,739	0.1%	平成32年 3月20日	設備整備費
平成27年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金		350,000,000		350,000,000	0.08%	平成37年 3月20日	運営費
平成27年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金		321,000,000		321,000,000	0.08%	平成38年 3月20日	運営費
平成27年度東金九十九里地域医療センター事業長期借入金		294,100,000		294,100,000	0.1%	平成33年 3月20日	設備整備費
計	10,426,999,737	965,100,000	567,041,566	10,825,058,171			

## (6) 引当金の明細

【単位:円】

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	その他		
退職給付引当金	64,291,321	60,977,031	22,122,000		103,146,352	
賞与引当金	124,660,075	61,923,041	124,660,075		61,923,041	



(7) 資産除去債務の明細

該当事項はありません。

(8) 保証債務の明細

該当事項はありません。

(9) 資本金及び資本剰余金の明細

【単位:円】

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金					
東金市	70,093,585			70,093,585	
九十九里町	25,142,265			25,142,265	
計	95,235,850			95,235,850	
資本剰余金					
資本剰余金	2,320,451,550	299,798,886		2,620,250,436	
運営費負担金	10,550			10,550	土地取得に係る費用
補助金等	2,320,441,000	299,798,886		2,620,239,886	
計	2,320,451,550	299,798,886		2,620,250,436	
損益外減価償却累計額	△ 176,766,616	△ 176,766,616		△ 353,533,232	

(10) 積立金等の明細及び目的積立金の取り崩しの明細

(10) -1 積立金及び目的積立金の明細

該当事項はありません。

(10) -2 目的積立金の取り崩しの明細

該当事項はありません。

(11) 運営費負担金債務及び運営費負担金収益の明細

(11) -1 運営費負担金債務

【単位:円】

交付年度	期首残高	負担金当期 交付額	当期振替額				期末残高
			運営費負担金収益	営業外運営費負担収益	資本剰余金	小計	
平成27年度		1,234,639,853	728,353,000	206,487,967	299,798,886	1,234,639,853	0

(12) (運営費負担金以外の) 地方公共団体等からの財源措置の明細

補助金等の明細

【単位:円】

区分	当期交付額	左の会計処理内訳			
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資本剰余金	収益計上
病院群輪番制病院運営事業助成金 (山武郡市広域行政組合)	7,200,000				7,200,000
2次輪番病院医師確保等対策助成金 (山武郡市広域行政組合)	1,442,000				1,442,000
看護師等充足対策事業補助金(千葉県)	530,000				530,000
新人看護師確保対策事業補助金(千葉県)	305,000				305,000
計	9,477,000				9,477,000

(13) 役員及び職員の給与の明細

【単位:千円・人】

区分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役員	(1072) 20,599	(4) 1		
職員	(218,922) 1,929,366	(69) 281	22,122	35
計	(219,994) 1,949,965	(73) 282	22,122	35

(注1) 非常勤の役員については、外数として( )で記載しました。

(注2) 役員報酬については、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター役員報酬等規程」に基づき支給しています。

職員給与については、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター職員給与規程」「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター職員の期末手当及び勤勉手当に関する規程」「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター職員の退職手当に関する規程」「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの任期付職員の採用等に関する規程」、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター派遣職員就業規則」及び「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター非常勤職員就業規則」に基づき支給しています。

(注3) 上記明細には、法定福利費・退職給与引当金・賞与引当金を含めていません。

## (14) 開示すべきセグメント情報

該当事項はありません。

## (15) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

## (15)-1 現金及び預金の明細

【単位:円】

区分	期末残高	摘要
現金	7,903,398	
普通預金	308,876,363	
計	316,779,761	

## (15)-2 医業未収金の明細

【単位:円】

区分	期末残高	摘要
入院収益	503,747,130	
外来収益	87,961,891	
その他の医業収益	6,098,627	
計	597,807,648	

## (15)-3 医業未払金の明細

【単位:円】

区分	期末残高	摘要
時間外勤務手当	17,945,130	
特殊勤務手当		
夜間勤務手当	8,997,891	
宿日直手当	1,111,586	
救急呼出待機手当	1,192,000	
診療特別手当	22,769,440	
その他手当		
賃金	17,746,516	
社会保険料事業主負担	9,400,367	
共済組合負担金	19,051,278	
薬品費	88,778,333	
診療材料費	212,167,496	
医療消耗備品費	10,291,033	
福利厚生費	36,000	
報償費	704,160	
旅費交通費	59,546	
消耗品費	7,492,456	
光熱水費	12,128,900	
修繕費	86,134	
広告料	344,088	
賃借料	20,174,996	
検査委託費	19,265,551	
滅菌消毒・SPD委託費	15,263,532	
給食委託費	18,617,711	
医事委託費	24,516,000	
清掃委託費	17,938,800	
保守委託費	55,008,800	
その他委託料	33,938,316	
使用料	291,887	
支払寄附金	5,825,000	
燃料費	3,190	
研究雑費	904,500	
租税公課	4,287,500	
計	646,338,137	

## 平成27年度決算報告書

【単位：円】

区分	予算額	決算額	差額 (決算額-予算額)	備考
<b>収入</b>				
営業収益	5,315,000,000	4,382,088,919	△ 932,911,081	
医業収益	4,757,000,000	3,618,864,337	△ 1,138,135,663	中期計画とおりの病棟開棟が行えず、外来患者数も少ないことが要因
運営費負担金収益	549,000,000	728,353,000	179,353,000	運営費負担金の追加分が増加
補助金等収益	7,000,000	9,477,000	2,477,000	
資産見返運営費負担金戻入		22,604,287	22,604,287	
資産見返補助金戻入		0	0	
その他営業収益	2,000,000	2,790,295	790,295	
営業外収益	207,000,000	230,364,927	23,364,927	
運営費負担金収益	207,000,000	206,487,967	△ 512,033	
財務収益		35,599	35,599	
雑益		23,841,361	23,841,361	平成26年度消費税の還付金
資本収入	950,000,000	1,264,898,886	314,898,886	
資本金収入				
運営費負担金収入	300,000,000	299,798,886	△ 201,114	
補助金収入				
長期借入金	650,000,000	965,100,000	315,100,000	資金不足による借入金の増額
その他の収入	500,000,000	500,000,000		
計	6,972,000,000	6,377,352,732	△ 594,647,268	
<b>支出</b>				
営業費用	5,513,000,000	5,242,188,793	△ 270,811,207	
医業費用	5,241,000,000	5,026,236,164	△ 214,763,836	
給与費	2,539,000,000	2,303,045,864	△ 235,954,136	計画通りの看護師を確保できなかったため
材料費	1,284,000,000	1,174,907,447	△ 109,092,553	計画通りの開棟ができず、想定患者数を下回ったため
減価償却費		0	0	
経費	1,410,000,000	1,543,446,953	133,446,953	
その他医業費用	8,000,000	4,835,900	△ 3,164,100	
一般管理費	272,000,000	215,952,629	△ 56,047,371	
営業外費用	132,000,000	131,610,972	△ 389,028	
資本支出	805,000,000	592,692,314	△ 212,307,686	
建設改良費	300,000,000	98,892,051	△ 201,107,949	年度末購入の医療機器等の支払いが翌年度になったため
その他資本支出	505,000,000	493,800,263	△ 11,199,737	
その他の支出	350,000,000	350,000,000		
計	6,800,000,000	6,316,492,079	△ 483,507,921	
単年度資金収支 (収入-支出)	172,000,000	60,860,653	△ 111,139,347	

(注1)決算額は、収入については現金預金の収入額に期首期末の未収金額等を加減算したものを、支出については現金預金の支出額に期首期末の未払金額等を加減算したものを記載しています。

(注2)上記の数値は、消費税込みの金額を記載しています。

# 平成 27 年度 事業報告書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

## 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの概要

### 1. 法人現況

#### (1) 法人名

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

#### (2) 本部の所在地

千葉県東金市丘山台三丁目6番地2

#### (3) 設 立：平成22年10月1日法人設立

#### (4) 役員状況(平成28年3月31日現在)

理事長：平澤 博之

理 事：石原 照子、本吉 伸弘、篠崎 純（非常勤）、横須賀 収（非常勤）、大川 昌権（非常勤）

監 事：白土 英成

#### (5) 職員数(平成28年3月31日現在)

常勤職員：282名 非常勤職員：69名

### 2. 病院現況

#### (1) 病院の概要

病院名：東千葉メディカルセンター

所在地：千葉県東金市丘山台三丁目6番地2

開 院：平成26年4月1日開院

病床数：164床（救命救急センター（ICU10床・HCU10床）、一般144床）

診療科：18科

医 師：65名（常勤37名 非常勤28名）

看護師：180名（常勤155 非常勤25名）

#### (2) 基本理念

患者の権利を尊重し、救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として地域住民に信頼される高度で安全な医療を行います。

#### (3) 基本方針

- 救命救急センターを併設して24時間、365日の救急医療の提供を行います。
- 高度な専門医療の提供を行い、地域住民の生命と健康を守ります。
- 常に安全・安心の医療を行います。
- 患者の権利を尊重し、常に患者第一の医療提供を行います。
- 医療連携を推進し、地域の患者により良い医療を提供します。
- 地域の中核病院として、地域医療機関と密接な連携を図ります。
- 医療従事者の教育・研修に努め、継続的に地域における医療の質の向上を図ります。
- 千葉大学医学部・同附属病院と密接に連携して診療を行います。
- 健全経営に努めるとともに、生き生きとした職場づくりに努めます。
- 地域の保健・医療に貢献するため、地域中核病院としての役割を担います。

## 1. 大項目ごとの特記事項

### 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

- ・救命救急センターとしての機能を発揮し、重篤救急患者に対して24時間365日体制で高度で専門的な医療を提供し広域的な患者の受入を行った。
- ・初期救急医療については、夜間急病診療所や休日在宅当番医の後方ベッドとして患者の受け入れを行った。
- ・二次救急医療については、他の病院群輪番制病院の後方ベッドとしての役割を担い、一月あたり夜間4コマ、休日日中2コマ病院群輪番制に参加した。

### 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

#### ○効率的かつ効果的な業務運営体制の整備

医療環境の変化等に的確に対応できるように、理事長のリーダーシップのもと各部門責任者や院内委員会等に明確な役割分担と適切な権限配分を行い、意思決定を迅速かつ適切に行うための運営会議を整備した。

また、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を達成するため、運営会議において平成27年度の運営状況について説明を行い年度計画における目標の進捗管理を行った。

### 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

#### ○収益の確保

年度計画とおりの開棟を目指すも看護師の確保状況から予定した病床数の確保は行えなかった。

しかし、外来診療単価及び入院診療単価においては、年度目標を達成した。

収益確保策として平成28年1月に7対1入院基本料の施設基準を取得した。

診療費未収金の発生防止のために入院保証金制度を実施した。未収金回収対策として督促や催告を行い対応した。

医師を中心に多職種で構成された保険委員会を毎月開催し査定返戻等の状況を協議し対策を講じた。

#### ○費用の合理化

中期的視点で予算編成を行い、予算科目や年度間で弾力的に運用できる地方独立行政法人の会計制度の特性を活かした効率的な予算執行を行うとともに、透明性、公平性の確保に十分留意しつつ民間病院の取組を参考に複数年契約、複合契約等の多様な契約手法を採用した。

診療材料は、外部委託を活用した預託在庫方式を用いて在庫管理を行い、薬品においては薬剤部を中心に在庫システムを利用した在庫管理を行った。ジェネリック医薬品の採用は少ないながらも薬事委員会で使用数の多い部分の医薬品においてジェネリック医薬品に変更するなどの調整を行い費用の節減を図った。

<実績>

後発医薬品採用率 43%

〈実績数値〉

事 項	平成27年度目標
経常収益	4,612百万円
入院 一般病床利用率	83.4%
平均患者数	114.8人/日
診療報酬単価	51,681円
外来 平均患者数	189.1人/日
診療報酬単価	13,205円

## 2. 平成27年度における項目別の状況

### 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

#### 2 地域の中核病院として担うべき医療

##### (1) 小児医療・小児救急医療

- ・急性疾患を中心に入院治療に対応した小児医療の提供を行った。
- ・救命救急センターにおいて、小児科専門医と救急専門医の協力の下小児救急医療に対応した。

##### (2) 周産期医療

- ・周産期病床において、正常分娩を中心に対応した周産期医療を行うため、千葉県の協力のもと、次年度着任の医師の確保を行った。

##### (3) 災害医療

- ・地域災害拠点病院として機能災害発生時に備え、地域医療機関、医師会、自治体等との連絡体制を確保するとともに、非常用発電装置、医薬品、診療材料、飲料水等を配備した。
- ・メディカルセンター全体を対象としたトリアージ訓練等の災害医療訓練を行った。DMATを中心に災害救護を想定した各種訓練に参加した。

9月1日 政府主催総合防災訓練の実施

9月11・12日 北関東・東北の豪雨災害の被災地においてDMATとして活動を行った。

##### (4) 感染症医療

- ・結核については結核患者収容モデル病床を使用し、結核患者に対応した医療を提供した。
- ・HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染症に関する専門医の確保について検討をした。
- ・新型インフルエンザ等の新たな感染症が発生したときは、地域医療機関、医師会、自治体等と密接に連携しながら迅速かつ適切な対応を行った。

#### 3 高度専門医療

##### (1) 4疾病への対応

###### ① がん

消化器がん（食道・胃・大腸・直腸・肝・胆道・膵等）に対応し、病態に応じて、内視鏡治療、外科手術、化学療法及び緩和ケア医療を提供するとともに、放射線治療を必要とする場合は必要に応じて千葉大学医学部附属病院等と連携して治療を行った。

がん検診の精密検査については、上記に加え、肺がん、子宮がんについても対応した。

地域におけるがん診療の拠点的機能を有する病院として、地域がん診療連携協力病院の指定を検討

した。

## ② 脳卒中

脳卒中等の脳血管疾患については、24時間365日体制で迅速な診断、治療をはじめ、特に増加傾向にある脳梗塞患者に対するt-P A（血栓溶解薬）の急性期静脈内投与や血行再建術等の治療を行った。

また、急性期医療に専念するため、地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し回復期の患者の受入先を確保した。

## ③ 急性心筋梗塞

急性心筋梗塞については、24時間365日体制で冠動脈カテーテル療法をはじめとする各種治療法による急性期医療を中心に提供した。

## ④ 糖尿病

糖尿病については、外来での一般的な診療を行うとともに糖尿病性腎症等の合併症を有する患者等で症状の悪化に伴い救急搬送された患者に対応した急性増悪時治療を提供するとともに、糖尿病性腎症患者に対する透析導入について対応できるよう準備を行った。住民を対象とした糖尿病教室を開催した。糖尿病教育入院に対しても対応を行った。

### （2）高度で専門性の高い医療

#### ① 高度な総合医療

入院や手術を中心とした急性期医療を安定的に提供し、18診療科の体制を整備した。外来診療については地域医療機関との役割分担のもと専門外来を中心に高度医療機器等による検査等を行うことで、地域の中核病院として高度な総合医療を提供した。

#### ② チーム医療の推進

それぞれの専門性をもつ医療従事者が、目的と情報を共有し、互いに連携しながら患者本位の医療を提供することを目指し、救急部門と各診療科の連携による救急医療を提供した。

医師を含む多職種で構成するNST（栄養サポートチーム）等のチーム医療体制を構築し活動した。

#### ③ 高度専門医療の充実

医療需要の質的、量的な変化や新たな医療課題に適切かつ柔軟に対応するため、必要な診療科を重点的に整備し、より高度な専門医療体制を構築した。

また、医療水準の更なる向上を図るため、法律等に基づく指定医療機関の指定を取得する検討を行った。

・ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第59条第1項の規定による指定自立支援医療機関

・ 臨床研修病院指定

・ 日本外科学会外科専門医制度関連施設

・ 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設

・ 日本呼吸器学会関連施設

・ 日本消化器病学会専門医制度認定施設

## 4 安全・安心で信頼される医療

### （1）医療安全体制の徹底

#### ① 医療安全対策の徹底



医療安全管理委員会を設置し、院内で発生した又は発生しそうになった医療安全上の問題点についての収集、分析及び結果の検証を行った。

また、医療安全管理マニュアル等の各種マニュアルを整備し、年 2 回医療安全研修を実施し全職員が医療安全に対する共通理解と知識の向上を図った。

## ② 院内感染防止対策の徹底

感染管理委員会による研修会を実施した。また、千葉大学医学部附属病院の研修に参加する等、院内感染防止に関する教育、訓練及び啓発を行い、医師をはじめとした医療スタッフの知識の向上を図った。

また、院内感染防止に関するマニュアルを整備し、院内感染が発生した場合はマニュアル等に基づき適切に対処した。

### (2) 患者の視点に立った医療の実践

インフォームド・コンセントを徹底するため、患者パス等で患者の視点に立った説明を行った。

患者やその家族に対し満足度の高い医療を提供するため、満足度調査として意見箱を設置し調査を行った。

### (3) 医療の標準化と診療情報の分析

クリニカルパス推進委員会を中心に、より効果的な医療を提供することで患者負担を軽減し、治療期間の短縮にも寄与できるようクリニカルパスの導入及び運用を積極的に行った。

また、DPC（診断群分類別包括評価）に対応するデータを用いて他病院との比較分析を行い医療の質の改善と標準化を図った。

DPC対象病院の認定についてDPC準備病院として申請を行い平成 30 年取得に向け準備を行った。

### (4) 法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）

公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめ、関係法令を遵守するとともに、住民からの信頼を確保するために各種マニュアルを整備し、適切な運用を図った。

## 5 患者・住民サービスの向上

### (1) 利用しやすい病院づくり

患者や来院者が快適に過ごせるよう院内清掃を徹底し、出入口の車いすの配置や、総合案内・総合受付の対応により高齢者や障害者が安心して医療を受けられる体制を整備した。

また、患者サービス向上委員会を活用し入院患者やその家族を対象に満足度調査を行い、現状を把握した。

### (2) 患者の待ち時間への配慮

外来診療、会計等の待ち時間を短縮するため、外来診療に係るシステムの見直しを行い次年度に体制を構築するため検討を行った。

### (3) 患者・来院者の利便性への配慮

患者や来院者の利便性に配慮し、売店運営の時間延長やクレジットカード等の決済を導入した。

### (4) 住民への保健医療情報の提供

医療に関する専門分野の知識や蓄積された情報を活用して、住民対象の公開講座の開催やホームページの活用等により保健医療情報を発信し、住民の医療や健康に対する意識の啓発を図った。

糖尿病教室 毎月第 1 金曜日開催

#### (5) 職員の接遇向上

患者や来院者に接するに相応しい接遇を行うため、職員に対し接遇研修を行った。

### 6 地域医療への貢献

#### (1) 地域医療連携室との連携推進

地域医療連携室を中心に、紹介された患者の受入と患者に適した地域医療機関等への逆紹介の対応を行った。

地域医療連携室の活動として地域の医師会の協力を得ながら地域の医療機関と密接な関係を構築した。

骨密度測定検査について医療機器の共同利用を開始した。

#### (2) 保健福祉行政等との協力

地域保健及び福祉施策に協力し自治体担当部局と連携を図った。

自治体消防部局と連携し救急救命士の教育研修を実施した。

また、医師会については、その活動に積極的に参加し情報交換を適宜行うなど必要な協力連携を図った。

#### (3) 疾病予防の取組

予防医療の一環として、予防接種については、インフルエンザワクチン等各種ワクチンの個別接種を行った。

### 7 メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開棟

平成 27 年度は、内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、救急科の 18 診療科とした。

## 第 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### 1 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備

#### (1) 人員配置の弾力的運用

患者動向や業務量の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、整形外科等の患者数の多い診療科においては、積極的に後期研修医を配置した。

また、看護部においては、7 対 1 入院基本料の看護師定員に沿った人員の配置を行った。

#### (2) 人事評価制度の導入

職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図るため、職員の自己点検・自己評価が反映され、勤務実績や能力、組織への貢献度が適正に評価される人事評価制度について試験的導入として事務部を対象に評価を行った。

#### (3) 外部評価

##### ① 監査の活用

監査によって指摘を受けた事項については、必要な見直しを適宜行い、結果を公表した。

##### ② 病院機能評価等の活用

組織的に医療を提供するための基本的な活動や機能を適切に実施しているかを検証するため、病院機能評価等の評価項目による検証を行うため検討した。

##### ③ 住民意見の活用

住民意見を病院運営に反映させるため、患者サービス向上委員会を活用した満足度調査を実施した。また、意見箱の設置を行い、現状を把握に努めた。

## 2 人材の確保

### (1) 千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携

千葉大学との協定によりメディカルセンター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、医師の養成及びメディカルセンターへの定着を図るとともに、指導医による安定的な診療体制を整備した。

### (2) 医師の確保

千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、平成 27 年 9 月に臨床研修病院の指定を受け、臨床研修医の受入を開始した。

### (3) 看護師の確保

新たに設置した看護師確保対策室のもと県内の看護学校への訪問や県内高校への看護師育成を目的とする広報活動を行い看護師確保に努めた。

法人独自の活動による合同就職説明会への参加や就職説明会・採用試験の複数回実施を行った。

また、インターネットを利用した看護部専用ホームページを作成し広報活動を強化するとともに各種媒体への広告掲載、復職支援研修による休職している看護師資格者の掘り起こし等により、各部門に応じた入院基本料に対応する看護師配置基準による計画的な看護師確保を行った。

次年度の看護師確保に向けて奨学金制度の見直しを行い、より多くの奨学生を確保できるよう検討を行った。

城西国際大学看護学部等の看護師養成機関からの看護学生の実習を積極的に受け入れ、インターンシップも行い、実際の医療現場を経験させることで卒業後のメディカルセンターへの就職希望者の確保を図った。

## 3 人材育成

学会、研究会及び研修会への参加を促進した。

医師については、各分野の認定専門医、看護師については、専門看護師、認定看護師等の資格取得のための研修や学会発表を行った。薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療技術職についても、専門性と医療技術の向上に向けた研修や学会発表を行った。事務職員については、医師事務作業補助者の資格取得のための研修に参加した。

## 4 働きやすい職場環境の整備

医師・看護師宿舍の効果的な活用を行った。

院内保育所については、夜勤等の勤務状況を踏まえた受け入れ態勢を整備した。

医師・看護師等の業務負担軽減のための事務補助員を適正配置した。育児短時間勤務制度等の育児中の職員に配慮した勤務形態の運用、職員の休暇取得の促進等を行った。

## 5 職員給与の原則

- ・職員給与費対医業収益比率 69.0%

## 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

### 1 健全な経営基盤の確立

#### (1) 健全な経営基盤の確立

全職員が経営情報を共有できるよう平成 27 年度の運営状況について運営会議に報告した。

また、物流委員会で診療材料等の調達に関し、各職員がコスト意識を持って業務を行う体制を構築した。

#### (2) 経営情報システムの整備

財務会計システムについては、経営判断や意思決定に資する有効なシステムとなるよう顧問である公認会計士の意見を取り入れ機能の追加や見直しを行った。

### 第 4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

#### 1 財政負担の原則

財政負担のとおり実施した。

総額：728,353,000円

東金市：548,633,000円

九十九里町：179,720,000円

長期借入金等元利償還金に充当する運営費負担金の額

総額：206,487,967円

東金市：157,258,093円

九十九里町：49,229,874円

#### 2 地域に対する広報

ホームページの更新や看護部専用のホームページの設置を行った。また、設立団体の広報に協力をいただき診療科や医師の情報提供を行った。

### 第 5 予算(人件費の見積もりを含む)、収支計画及び資金計画

省略(財務諸表等による)

### 第 6 短期借入金の限度額

500百万円の短期借入

借入先：千葉興業銀行東金サンピア支店

運転資金等の資金不足により短期借り入れを行った。

### 第 7 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産の処分に関する計画

平成 27 年度は該当する財産の処分はない。

### 第 8 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

平成 27 年度においては、重要な財産の譲渡等に関する計画はない。

### 第 9 剰余金の使途

平成27年度においては、該当する剰余金がない。

#### 第10 料金に関する事項

省略

#### 第11 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

##### 1 施設及び設備に関する計画

医療機器等の購入費として総額294百万円を借入した。

財源：東金市及び九十九里町長期借入金

##### 2 積立金の処分に関する計画


平成27年度においては、積立金の処分に関する計画はない。

## 監査報告書

平成 28 年 5 月 25 日

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター  
理事長 平澤 博之 様

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター

監事 白土 英成 

私は、地方独立行政法人法第 13 条第 4 項の規定により、地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの第 6 期事業年度における業務の施行を監査いたしました。その結果について、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の概要

私は、平成 27 年度監査計画に基づき、理事会に出席するほか、役員（監事を除く。以下同じ。）等から事業の報告を聴取し、重要な決裁書類を閲覧し、事務局等において業務及び財産の状況を調査しました。また、財務諸表、事業報告書及び決算報告書について、検討を加えました。

### 2. 監査の結果

- (1) 財務諸表（利益の処分に関する書類を除く。）は、当法人の財政状態、運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況を適正に示していると認めます。
- (2) 利益の処分に関する書類は、法令に適合していると認めます。
- (3) 決算報告書は、当法人の予算区分に従って決算の状況を正しく示していると認めます。
- (4) 事業報告書は、当法人の業務運営の状況を正しく示していると認めます。
- (5) 役員の職務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは規程に違反する重大な事実は認められません。
- (6) 平成 27 年度においては、債務超過となるため注記事項に記載した当該状況を解消するための対応策が必要と認めます。
- (7) 債務超過となった要因の一つに新規開設の病院で資本形成において資本金を財源とせず、事業債による借入等を財源とした状況があげられ、避けることのできない損失の累積に対し、解消までには相応の時間を要す

ると考えます。このため資本金の増強が継続企業の前提を確保するための最重要課題と認めます。

- (8) 次年度に行う予定の中期目標及び中期計画の変更において実績に基づいた計画を設定することが必要と認めます。

# 《参考資料》

## 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター平成28年度年度計画

前文：計画策定にあたって

中期目標及び中期計画で未達事項が生じたため、平成28年度において中期目標及び中期計画を変更することから平成28年度年度計画は、現第2期中期計画を基に定めることとする。中期計画の内容を変更した後、平成28年度中に年度計画を変更するものとする。

### 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

#### 1 救急医療

救命救急センターとして、脳卒中・急性心筋梗塞・多発外傷・熱傷・急性中毒等の重篤救急患者に対して24時間365日体制で高度で専門的な医療を提供し広域的な患者の受入に対応する。

また、初期救急医療については、夜間急病診療所や休日在宅当番医の後方ベッドとしての役割を担う。

二次救急医療については、他の病院群輪番制病院の後方ベッドとしての役割を担うとともに、一月あたり夜間4コマ（内科系・外科系各2コマ）、休日日中2コマ（内科系・外科系各1コマ）病院群輪番制に参加する。

〈関連する数値目標〉

事 項	平成28年度目標
救急車搬送受入患者数	2, 100人

#### 2 地域の中核病院として担うべき医療

##### (1) 小児医療・小児救急医療

急性疾患を中心に入院治療に対応した小児医療を提供する。

また、救命救急センターにおいて、小児科専門医と救急専門医の協力のもと小児救急医療への対応を行う。

##### (2) 周産期医療

周産期病床において、正常分娩を中心に対応した周産期医療を行う。

##### (3) 災害医療

地域災害拠点病院としての機能を十分に発揮し、地域医療機関、医師会、自治体等との連絡体制を確保するとともに、医薬品、診療材料、飲料水等を配備する。

また、メディカルセンター全体を対象としたトリアージ訓練等の災害医療訓練を行うとともにDMATを中心に災害救護を想定した各種訓練に参加し、災害医療に対応する。

千葉大学医学部附属病院のDMATとの連絡体制を整える。

##### (4) 感染症医療

結核については結核患者収容モデル病床にて、結核患者に対応した医療を提供する。

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染症に関する専門医の確保について検討する。



また、新型インフルエンザ等の新たな感染症が発生したときは、地域医療機関、医師会、自治体等と密接に連携しながら迅速かつ適切な対応を行う。

### 3 高度専門医療

#### (1) 4 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）への対応

##### ① がん

消化器がん（食道・胃・大腸・直腸・肝・胆道・膵等）に対応し、病態に応じて、内視鏡治療、外科手術、化学療法及び緩和ケア医療を提供するとともに、放射線治療を必要とする場合は必要に応じて千葉大学医学部附属病院と連携して治療を行う。

がん検診の精密検査については、上記に加え、肺がんについても対応する。また子宮がん、乳がんについて対応する。

地域におけるがん診療の拠点的機能を有する病院として、地域がん診療連携協力病院の指定を目指す。

##### ② 脳卒中

脳卒中等の脳血管疾患については、24時間365日体制で迅速な診断、治療をはじめ、特に増加傾向にある脳梗塞患者に対するt-P A（血栓溶解薬）の急性期静脈内投与や血行再建術等を要する治療を行う。

また、急性期医療に専念するため、地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し回復期の患者の受入先を確保する。

##### ③ 急性心筋梗塞

急性心筋梗塞については、24時間365日体制で冠動脈カテーテル療法をはじめとする各種治療法による急性期医療を中心に提供する。

##### ④ 糖尿病

糖尿病患者に対する一般的な診療を行うとともに糖尿病性腎症等の合併症を有する患者等で症状の悪化に伴い救急搬送された患者に対応した急性増悪時治療を提供するとともに、糖尿病性腎症患者に対する透析導入を行う。

また、維持透析療法が必要な患者については地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し受入先を確保するとともに、重篤な合併症発症時に対応する。

#### (2) 高度で専門性の高い医療

##### ① 高度な総合医療

入院や手術を中心とした急性期医療を安定的に提供するとともに、各診療科の体制を整備し、外来診療については地域医療機関との役割分担のもと紹介や専門外来を中心に高度医療機器等による検査等を行うことで、地域の中核病院として高度な総合医療を提供する。

##### ② チーム医療の推進

それぞれの専門性をもつ医療従事者が、目的と情報を共有し、互いに連携しながら患者本位の医療を提供することを目指し、救急部門と各診療科、各コメディカル部門との連携による救急医療を提供する。

また、特に早期リハビリ、NST（栄養サポートチーム）等の分野におけるチーム医療を確立する。

### ③ 高度専門医療の充実

医療需要の質的、量的な変化や新たな医療課題に適切かつ柔軟に対応するため、必要に応じて診療科の再編や病院機能の充実又は見直しを行い、より高度な専門医療体制を目指す。

また、医療水準の更なる向上を図るため、法律等に基づく指定医療機関の指定や各種学会による認定施設の取得をする。

## 4 安全・安心で信頼される医療

### (1) 医療安全対策の徹底

#### ① 医療安全対策の徹底

医療安全管理委員会を設置し、院内で発生した又は発生しそうになった医療安全上の問題点についての収集、分析及び結果の検証を行うとともに、医療事故発生時には医療事故調査制度等を利用した十分な検証を行い、検証結果を公表するなど医療安全対策を徹底する。

また、医療安全管理マニュアル等に基づき、医療安全研修を実施し全職員が医療安全に対する共通理解と知識の向上を図る。

#### ② 院内感染防止対策の徹底

感染管理委員会による研修会等の実施や感染対策チームを中心とした院内感染状況の把握、分析、評価を行い効率的な感染対策を行う。

また、千葉大学医学部附属病院との合同カンファレンスなど、院内感染防止に関する教育、訓練及び啓発を行い、医師をはじめとした医療スタッフの知識の向上を図るとともに、問題点を把握し改善策を講ずるなど院内感染防止対策を徹底する。

また、院内感染防止に関するマニュアルに基づき、院内感染が発生した場合はマニュアル等に基づき適切に対処する。

### (2) 患者の視点に立った医療の実践

インフォームド・コンセントの取得を徹底する。

また、患者サービス向上委員会を中心に患者やその家族に対し満足度調査等を実施し、現状を把握するとともに職員の接遇研修等により患者満足度の高い医療の提供を行う。

### (3) 医療の標準化と診療情報の分析

クリニカルパス推進委員会を中心に、より効果的な医療を提供することで患者負担を軽減し、治療期間の短縮にも寄与できるようクリニカルパスの積極的な活用を図る。

また、診療情報データを用いて他病院との比較分析を行い医療の質の改善と標準化を図るため、DPC（診断群分類別包括評価）対象病院の認定を目指しDPC準備病院に参加する。

### (4) 法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）

公的使命を適切に果たすため、医療法（昭和23年法律第205号）をはじめ、関係法令を遵守するとともに、住民からの信頼を確保するために各種マニュアルを整備し、適切な運用を図る。

## 5 患者・住民サービスの向上

### (1) 利用しやすい病院づくり

患者や来院者が快適に過ごせるよう院内清掃及び案内の充実を図る。出入口への車いすの配置等、総合案内や各受付職員を中心に高齢者や障害者が安心して医療を受けられる環境を常に意識し整備する。

また、患者サービス向上委員会を活用し入院患者やその家族を対象に満足度調査を行い、その結果をもとに患者サービスの向上を図る。

(2) 患者の待ち時間への配慮

外来診療予約の対応は待ち時間に配慮するとともに、会計の待ち時間短縮のための対策を行う。

(3) 患者・来院者の利便性への配慮

患者や来院者の利便性に配慮した売店運営等、効果を確認しつつ充実を図る。

(4) 住民への保健医療情報の提供

医療に関する専門分野の知識や蓄積された情報を活用して、住民対象の公開講座の開催やホームページの活用等により保健医療情報やメディカルセンターの医療内容を発信し、住民の医療や健康に対する意識の啓発を図る。

(5) 職員の接遇向上

接遇研修を全体及び職種ごとに行うなど、医療機関の職員として相応しい接遇を職員一人ひとりが実践できるようにする。

## 6 地域医療への貢献

(1) 地域医療機関等との連携推進

地域医療連携室の組織を強化し地域医療支援病院に準じた紹介率、逆紹介率を目標として地域の医療機関との連携を推進するとともに、千葉県が推進する循環型地域医療連携システム（地域医療連携パス）の活用を図ることで、患者が急性期から回復まで切れ目のない医療を受けられる体制を整備する。

### <関連する数値目標>

事 項	平成28年度目標
紹介率	65%
逆紹介率	40%

(2) 保健福祉行政等との協力

千葉県内定期予防接種相互乗り入れ事業や乳幼児健診等の地域保健及び福祉施策に協力し自治体担当部局と連携を図る。自治体消防部局と連携し救急救命士の教育・研修の受け入れを行う。

また、医師会については、共同で講演会を開催する等の活動に積極的に参加し情報交換を適宜行うなど必要な協力連携を図る。

(3) 疾病予防の取組

予防医療の一環として、千葉県内定期予防接種相互乗り入れ事業に参加しインフルエンザワクチン等の各種ワクチンの個別接種を行う。

## 7 メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開棟

平成28年度については、歯科口腔外科を開設し19診療科とする。

平成28年度	
診療科 (診療科数)	内科(総合診療科)、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、歯科口腔外科、救急科  (19科)
開設病棟	207床
(一般病棟)	5病棟 187床
(救命救急センター)	ICU 10床 HCU 10床
医師数	42人
看護師数	198人

※上記については年度末の数値であり、医師数には後期研修医を含んでいる。

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### 1 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備

#### (1) 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備

医療環境の変化等に的確に対応できるように、理事長のリーダーシップのもと経営等に関する重要課題を審議する機関として執行部会を設置する。また、副センター長や各部門責任者、院内委員会等に明確な役割分担と適切な権限配分を行い、意思決定を迅速かつ適切に行うことができる効率的かつ効果的な業務運営体制を整備する。

また、中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を達成するため、各部門責任者等で構成する自己評価のための組織を立ち上げ、目標達成の進捗管理のための準備を行う。

#### (2) 人員配置の弾力的運用

患者動向や業務量の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、定期的又は必要に応じて迅速に医師や看護師等の人員配置の見直しを適宜行う。

#### (3) 人事評価制度の導入

職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図るため、職員の自己点検・自己評価が反映され、勤務実績や能力、組織への貢献度が適正に評価される人事評価制度を導入する。効果的な評価制度とするため、評価者研修等を行う。

#### (4) 外部評価

##### ① 監査の活用

監査によって指摘を受けた事項については、必要な見直しを適宜行うとともにその結果を公表する。

##### ② 病院機能評価等の活用

組織的に医療を提供するための基本的な活動や機能を適切に実施しているかを検証するため、病院機能評価等の評価項目による検証を行うための準備を行う。

##### ③ 住民意見の活用

住民意見を病院運営に反映させるため、患者サービス向上委員会を活用した満足度調査の実施や意見箱の設置などにより住民から意見を収集し、サービスの向上を図る。

## 2 人材の確保

### (1) 千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携

千葉大学との協定によりメディカルセンター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、医師の養成及びメディカルセンターへの定着を図るとともに、指導医による安定的な診療体制を整備する。

### (2) 医師の確保

千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、臨床研修医の受入れを行い、臨床研修指定病院の指定を目指す。

### (3) 看護師の確保

看護師確保対策室による組織的な看護師確保を図る。

合同就職説明会への参加、就職説明会・採用試験の複数回実施、インターネットをはじめとした各種媒体への広告掲載、奨学金制度、復職支援研修による休職している看護師資格者の掘り起こし等により、各部門に応じた入院基本料に対応する看護師配置基準による計画的な看護師確保を図る。

また、城西国際大学等の看護師養成機関からの看護学生の実習を積極的に受け入れ、地域における看護師の育成に寄与する。特に最終学年の学生を対象にインターンシップを実施し、実際の医療現場を経験させることで卒業後のメディカルセンターへの就職希望者の確保を図る。

## 3 人材育成

学会、研究会及び研修会への参加と認定看護師等の職務上必要な資格の取得を計画的に促進する。

医師については、各分野の認定専門医、看護師については、専門看護師、認定看護師等の資格取得を促進するとともに、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療技術職についても、専門性と医療技術の向上に向けた計画的な研修計画の策定を検討する。

また、事務職員については、診療情報管理士等の必要な資格取得を促進する。

## 4 働きやすい職場環境の整備

医師・看護師等の職員が業務に精励できるよう各種制度の整備を図る。

医師・看護師等の業務負担軽減のための医師事務作業補助者及び看護補助者を適正配置し体制を整える。育児短時間勤務制度等の育児中の職員に配慮した勤務形態の運用、職員の休暇取得の促進等の取り組みを進める。

## 5 職員給与の原則

職員の給与については、当該職員の勤務成績と法人の業務実績を反映させた給与制度を検討する。

〈関連する数値目標〉

事 項	平成28年度目標
職員給与費対医業収益比率	59.5%

### 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

#### 1 健全な経営基盤の確立

##### (1) 健全な経営基盤の確立

経営等に関する重要課題を審議する機関として執行部会を設置する。また、意思決定機関である運営会議で各部門長等が経営情報を把握できるよう定期的な報告を行うとともに、全職員に対し経営情報を共有できるよう定期的な説明の場を設ける。

また、各職員がコスト意識を持って業務を行う体制を構築する。

##### (2) 経営情報システムの整備

財務会計システム及び人事給与システムは、経営判断や経営管理を行うためのシステムであり、より効率的・効果的な使用を行う。

#### 2 収益の確保と費用の合理化

##### (1) 収益の確保

収益の確保のために病棟開棟を進めていくとともに適切な施設基準の取得を行う。また、当センターの高度医療機器を地域の医療機関による共同利用として開放することを検討し実施していくこととする。

収益の根幹である入院料（7対1）やDPC準備病院について適正に対応し収益の確保を図ることとする。

保険委員会を中心に返戻及び査定、算定漏れ等の対策を検討し実施していく。

##### (2) 費用の合理化

収益規模に応じた予算編成を行い、地方独立行政法人の会計制度の特性を活かした効率的な予算執行を行う。透明性、公平性の確保に十分留意しつつ民間病院の取組を参考に複数年契約、複合契約等の多様な契約手法を活用し費用の合理化を図る。

また、ジェネリック医薬品について薬事委員会を中心に採用率を上げ、費用の節減を図る。

〈関連する数値目標〉

事 項		平成28年度目標
経常収益		5,622百万円
入院	一般病床利用率	75%
	平均患者数	150.0人/日
	診療報酬単価	72,304円
外来	平均患者数	247.0人/日
	診療報酬単価	11,837円

### 第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

#### 1 財政負担の原則

運営費負担金等（地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第85条第1項に基づき設立団体が負担すべき経費及び同法第42条に基づき設立団体が交付できる金額をいう。以下同じ）は、「地方独立行政法人法等の施行に係る公営企業型地方独立行政法人の取扱いについて（平成16年4月1日総財公第39号総務省自治財政局公営企業課長通知）」中、「第一 設立団体が負担すべき経費等について」に定められた基準により、救急医療、災害時医療等の政策医療に係る経費及び高度医療、小児医療、周産期医療等の不採算経費に充てる。

また、長期借入金等元利償還金に充当する運営費負担金等については料金助成のための運営費負担金等とする。

## 2 地域に対する広報

平成28年度の医療体制に合致したパンフレットを作成し広報として情報提供を促進する。また、ホームページやフェイスブックを広報手段として利用し効率的かつ効果的に情報提供を行う。

## 第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

### 1 予算（平成28年度）

別表1のとおりとする。

### 2 収支計画（平成28年度）

別表2のとおりとする。

### 3 資金計画（平成28年度）

別表3のとおりとする。

## 第6 短期借入金の限度額

### 1 限度額 500百万円

### 2 想定される短期借入金の発生事由

(1) 運営費負担金等の受入遅延等による資金不足への対応

(2) その他、偶発的な資金不足への対応

## 第7 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産の処分に関する計画

なし

## 第8 前章に規定する財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし

## 第9 剰余金の使途

剰余金が生じた場合は、病院規模の拡充、施設設備の整備、医療機器等の購入、長期借入金の償還、人材確保事業及び人材育成事業の充実に充てる。

## 第10 料金に関する事項

### 1 料金

理事長は、料金として次に掲げる額を徴収する。

- (1) 健康保険法（大正11年法律第70号）第76条第2項（同法第149条において準用する場合を含む。）及び高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）第71条第1項の規定に基づく方法により算定した額
- (2) 健康保険法第85条第2項（同法第149条において準用する場合を含む。）及び高齢者の医療の確保に関する法律第74条第2項の規定に基づく基準により算定した額
- (3) (1)及び(2)以外のものについては、理事長が別に定める額

## 2 減免

理事長は、特別の理由があると認めるときは、料金の全部又は一部を減額し、又は免除することができる。

## 第11 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

### 1 施設及び設備に関する計画

施設及び設備の内容	予定額	財源
医療機器等の購入	総額400百万円	東金市及び九十九里町長期借入金等

備考

- 1 金額については、見込みである。
- 2 各事業年度の東金市及び九十九里町長期借入金等の具体的な額については、各事業年度の予算編成過程において決定される。
- 3 医療機器等の選定にあたっては、費用対効果、地域住民の医療需要、償還等の負担を十分に考慮した上で行う。

### 2 積立金の処分に関する計画

なし



別表 1  
 予算(平成 28 年度)

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
営業収益	5,589
医業収益	4,684
運営費負担金収益	898
補助金等収益	7
その他営業外収益	
営業外収益	286
運営費負担金収益	257
その他営業外収益	29
資本収入	1,691
運営費負担金収益	300
長期借入金	1,391
その他資本収入	
その他の収入	
前年度からの繰入金	60
計	7,626
支出	
営業費用	5,768
医業費用	5,552
給与費	2,464
材料費	1,590
経費	1,498
その他医業費用	
一般管理費	216
営業外費用	184
資本支出	981
建設改良費	400
償還金	567
その他資本支出	14
その他の支出	500
計	7,433
翌年度への繰越金	193

(注 1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

(注 2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

(注 3) 資金不足が見込まれるため、平成 28 年度上半期の経営状況を踏まえ、下半期に借入を予定している 300 百万円を長期借入金としている。不足額の対応等について設立団体と協議を行う。

別表 2  
収支計画(平成 28 年度)

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入の部	5,993
営業収益	5,707
医業収益	4,780
運営費負担金収益	898
補助金等収益	7
資産見返運営費負担金戻入	22
その他営業収益	
営業外収益	286
運営費負担金収益	257
その他営業外収益	29
臨時利益	
支出の部	6,964
営業費用	6,690
医業費用	6,436
給与費	2,612
材料費	1,430
経費	1,530
減価償却費	864
その他医業費用	
一般管理費	253
営業外費用	184
臨時損失	90
純利益	▲ 971
目的積立金取崩額	
総利益	▲ 3,988

(注 1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

(注 2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

(注 3) 給与費・一般管理費中に賞与引当金・退職給与引当金として、合計 162 百万円を見込んでいる。

別表 3  
資金計画(平成 28 年度)

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金収入	7,662
業務活動による収入	5,971
診療業務による収入	4,780
運営費負担金による収入	1,155
補助金等収入	7
その他の業務活動による収入	29
投資活動による収入	300
運営費負担金による収入	300
その他の投資活動による収入	
財務活動による収入	1,391
長期借入れによる収入	1,391
その他の財務活動による収入	
資金支出	6,805
業務活動による支出	5,824
給与費支出	2,680
材料費支出	1,430
その他の業務活動による支出	1,582
利息の支払額	132
投資活動による支出	414
有形固定資産の取得による支出	400
その他の投資活動による支出	14
財務活動による支出	567
長期借入金の返済による支出	567
その他の財務活動による支出	
資金収支差額	857

(注 1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

(注 2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。